

県立宮崎病院

■病院の概要

■病院長	菊池 郁夫
■所在地	宮崎市北高松町 5-30
■TEL	0985-24-4181
■研修実施責任者	阿久根 広宣
■病床数	638 床
■年間入院患者実数	149,208
■一日平均外来患者数	704
■救急取扱患者数	7,593



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

内科、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、神経内科、放射線科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、救急科、心臓血管外科、循環器内科、総合診療科

研修施設の特徴

大正 10 年に設立された当院は、県庁所在地である宮崎市の中心部に位置し、多数の診療科を有する地域の中核的病院としての役割を担っております。「第三次救急医療施設」、「地域がん診療連携拠点病院」、「エイズ治療中核拠点病院」、「地

域周産期母子医療センター」などの他、多くの専門学会認定医・専門医の研修・教育（関連）施設に指定されており、移植医療については、腎臓移植、骨髄移植を実施しております。

研修症例および指導体制の特徴

《内科》

【研修症例】

1. 経験できる頻度の高い症状：

全身倦怠感、不眠、体重減少・増加、浮腫、リンパ節腫脹、発疹、横断、発熱、頭痛、めまい、失神、胸痛、動悸、呼吸困難、咳・痰、嘔気・嘔吐、胸焼け、嚥下困難、腹痛、便通異常、腰痛、関節痛、歩行障害、四肢のしびれ

2. 経験できる緊急を要する症状・病態：

心肺停止、ショック、意識障害、脳血管障害、急性呼吸不全、急性心不全、急性冠症候群、急性腹症、急性消化管出血、急性腎不全、急性感染症、急性中毒、誤嚥、誤飲

【指導体制】

内科・循環器内科のスタッフおよびレジデント(卒後 3 年以上)が指導する。

入院受け持ち患者数は約 10 名であり、必ず指導医とペアで診療する。

《麻酔科》

【研修症例】

1. GIO(一般目標)

麻酔のテクニックだけでなく、周術期管理の基本を学ぶ。

2. SBOs(行動目標)

- | | |
|------------------|------------|
| ①術前患者評価ができる | ⑦腰椎穿刺ができる |
| ②胃管を入れることができる | ⑧硬膜外穿刺ができる |
| ③中心静脈カテーテルを挿入できる | ⑨疼痛管理ができる |
| ④観血的動脈ラインが挿入できる | ⑩呼吸管理ができる |
| ⑤気道確保ができる | ⑪循環管理ができる |
| ⑥気管挿管ができる | ⑫体液管理ができる |

【指導体制】

基本的に、マンツーマンで指導を行う。

《小児科》

【研修症例】

1. 小児急性感染症

上気道炎、気管支炎、肺炎、感染性胃腸炎、尿路感染症、中耳炎、髄膜炎、脳炎、麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹症、インフルエンザなど

2. 小児の脱水症

3. 小児けいれん性疾患

熱性けいれん、無熱性けいれん

4. 小児喘息

5. その他

先天性心疾患、先天異常及び染色体異常、貧血、出血性疾患、溶連菌感染後急性糸球体腎炎、慢性腎炎、紫斑病性腎炎、ネフローゼ症候群、川崎病、若年性関節リウマチ、SLE、下垂体疾患、甲状腺疾患、糖尿病

【指導体制】

指導医によるマンツーマンの指導を基本に、スタッフ或いはレジデント（卒後3年目以上）による指導により様々な症例を経験していく。

指導医・先輩医師からのメッセージ

県立宮崎病院は、22診療科を有する全県レベルの中核病院として、100名を超える医師が在籍しています。

県内各地から多くの患者が来られ、初期研修医の2年間に、common diseaseから稀少疾患まで様々な疾患・症例を経験することができます。手技も確実に身に付くよう、懇切丁寧に指導を行っていきます。

1921年（大正10年）設立の当院は、宮崎県を代表する歴史と伝統ある病院です。これまで、多くの優秀な医師を輩出してきました。これからも、実力のある医師を育てていきたいと思っています。



宮崎市郡医師会病院

■ 病院の概要

■ 病院長	川名 隆司
■ 所在地	宮崎市新別府町船戸 738-1
■ TEL	0985-24-9119
■ 研修実施責任者	柴田 剛徳
■ 病床数	248 床
■ 年間入院患者実数	7,107
■ 一日平均外来患者数	56.4
■ 救急取扱患者数	1,465



(平成 28 年度実績)

■ 研修受入診療科

内科、外科、産婦人科、麻酔科、循環器内科、心臓血管外科

研修施設の特徴

宮崎市郡医師会病院は、昭和 59 年 4 月に会員の紹介入院を主体にした共同利用施設・開放型病院として開院し、以降、会員(開業医等)との密接な連携を図りながら、地域の基幹病院として急性期疾患を中心とした医療を担っております。平成 9 年 3 月に地域災害拠点病院に指定され、平成 10 年 12 月には地域医

療支援病院の承認を受けました。また、平成 13 年 10 月には緩和ケア病棟を新設しました。平成 20 年 4 月には地域周産期母子医療センターとして認定されました。現在は平成 32 年の移転建替に向け準備をしており、さらなる市民・県民の皆様に高度で良質な医療を提供できる医療機関を目指しております。

研修症例および指導体制の特徴

＜内科＞

研修目標は、入院患者の問題を包括的に把握できること、標準的な診断・治療方法を目の前の患者に当てはめることができるかを検討できること、および、他科のコンサルトを受け合併症のマネージメントについて理解できること。2017 年 7 月にスタッフが変わり、今のところ、担当患者は多くありませんが、それ以外に、各科から診断未確定患者の診断や合併症のコントロールに

ついて相談を受けています。患者の診察をしてもらい、診断が未確定の場合には、診断に至るまでの方針とマネージメントを、診断が確定している場合は、どのようにマネージメントするかを、指導医と議論し、その根拠の妥当性を検討します。また、方針が適切かどうか、うまく機能しなかった場合どうするか、のフォローアッププランについても検討します。

＜外科＞

【研修症例】

年間手術件数は 400-500 件前後で推移しており、消化管及び肝胆膵の良悪性疾患のみならず、急性期疾患の受け入れも多く、消化管穿孔や急性虫垂炎、腸閉塞など腹部救急疾患の手術症例も多数あります。当科では内視鏡診断・治療も積極的にこなっており、

特に消化管出血に対する止血術、消化管ポリープ切除術、大腸癌イレウスに対するステント留置、総胆管結石の内視鏡治療、悪性胆道閉塞の閉塞性黄疸に対する減黄術、感染性膵嚢胞に対する超音波内視鏡下内瘻術など多岐に行っております。

【指導体制】

研修の基本は臨床実地場で消化器外科の診断から治療までを一貫して行う事が出来る知識と経験を積むことであり、具体的には的確な病歴聴取と身体診察等による鑑別診断を行い、超音波検査・腹部 CT 検

査・内視鏡検査による確定診断と治療を行います。各種の手術治療の経験、化学療法の実施と実施、手術は助手としての経験を可能な限り積んでもらい、その後は術者として執刀できるように指導していきます。

＜循環器内科＞

最新の医療レベルで助けられるはずの命がこの地域でも助けられるよう、地域差を感じさせない質の高い医療を目指しています。特に、救急医療に力を注いでおり循環器疾患として、狭心症・心筋梗塞(急性期・慢性期を含む)などの虚血性心疾患、弁膜症、成人の先天性心疾患、心筋炎、心膜炎、心筋症、心不全、

＜産婦人科＞【研修症例】

当院は県立病院、古賀総合病院とともに県央の地域周産期医療センターとして、開業医の先生方からのハイリスク妊娠分娩の紹介、妊娠 26 週から正期産の新生児管理に加え、産婦人科救急搬送の受入れを担っています。そのため、周産期の研修として、年間約 500 症例の正常および異常分娩、帝王切開約 350 症例、呼吸器管理を要する重症新生児約 50 症例を

【指導体制】

当院産婦人科は、産婦人科(床)、NICU・GCU(床)だけでなく、日々の救急外来症例を、産婦人科全員で診療しています。主に産婦人科専攻医とベッドサイドで診療に従事し、産婦人科専門医 3 名(周産期専門医 1 名含む)による指導体制を敷いています。具体的には、当直医からの申し送りを含めた毎朝カンファレンスにおいて、ケースプレゼンテーション、チームディスカッションを経て診療方針を決定します。その後は、NICUを含めた病棟回診および処置を通し、患者さん、スタ

＜麻酔科＞【研修症例】

麻酔管理に必要な基本的手技(マスク換気、気管挿管、ラリンジアルマスク挿入など)術中に使用する薬剤の使用法、硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、鎮痛鎮静法について学びます。各診療科の手術を行う主な麻酔法(消化器外科-硬膜外併用全身麻酔、心臓血管外科-全身麻酔、産婦人科-硬膜外併用脊髄く

【指導体制】

麻酔指導医と麻酔専門医が指導を担当します。研修の希望に沿ったカリキュラムを作成し、麻酔担当医と共に麻酔管理の注意点を考え、朝のカンファレンス

高血圧性心疾患、不整脈、血管疾患(その他):高血圧緊急症、解離性大動脈瘤、大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、腎血管性高血圧、肺塞栓、下肢深部静脈血栓症、肺高血圧症などを対象としています。沢山のスタッフが在籍しており、教育も充実しています。興味のある先生はぜひホームページを参照ください。

経験することができます。婦人科疾患に関しては、良性腫瘍の開腹手術、腹腔鏡下手術を行っています。上記のうち、救急搬送は年間 200 例であり、緊急手術は年間 180 例であり、産婦人科・新生児科の救急症例および Common disease 症例を研修するには最適な施設です。

ツフとのコミュニケーション能力やチーム医療体制の重要性を学びます。開業医の先生から紹介を受けることが多い外来では、周産期ハイリスク症例だけでなく、産婦人科救急搬送症例および女性一般外来を経験します。外来診療は限られた時間の中での高度な問題解決能力が求められるため、経験ある産婦人科専門医のマンツーマン体制の元、多彩な救急症例・外来診療に従事することは今後のキャリアに活かすことができます。

も膜下麻酔や静脈麻酔、整形外科-脊髄くも膜下麻酔や伝達麻酔併用全身麻酔、循環器内科(経カテーテル的大動脈弁置換術-全身麻酔)について学びます。その中で必要な手技(中心静脈カテーテル挿入、動脈圧ライン挿入、エコーガイド下血管穿刺、神経ブロック、経食道心エコーなど)についても学びます。

で提示します。術中管理を担当医と共に行い、必要な知識、手技をトレーニングします。

指導医・先輩医師からのメッセージ

研修医時代は、やればやるほど新しい知識技術が身につく、ひとつひとつの経験が記憶に残り将来につながる、医師人生の中でも特に充実した期間です。沢山の患者さんと出会い、ひとりひとりと真剣に向き合う中で、医師としての基本的な姿勢や知識を得る日々は、必ず将来の姿につながります。

宮崎市郡医師会病院は、主に急性期疾患を扱う病院であり、日々の多くの救急・重症患者さんの診療に携わることができます。専門医・指導医の直

接指導を受けながら救急での診断や治療、手術といったダイナミックな現場での診療経験を積むことは、大きな力となります。

また、診療だけでなく学術面でも成果を出しており国内外の学会でも多くの症例発表・研究論文発表の実績があります。研修医として日常臨床現場での実践をスタートする時期、思い切り頑張りたいと言う気持ちを持っている先生方は是非、一緒に頑張ってみませんか。

■ 病院の概要

■ 病院長	今村 卓郎
■ 所在地	宮崎市池内町数太木 1749-1
■ TEL	0985-39-8888
■ 研修実施責任者	今村 卓郎
■ 病床数	363 床
■ 年間入院患者実数	5,523
■ 一日平均外来患者数	539
■ 救急取扱患者数	915



(平成 28 年度実績)

■ 研修受入診療科

内科、外科、産婦人科、精神科

■ 研修施設の特徴

病床数 363 床(一般 271 床、精神 92 床)の一般急性期病院です。

平成 23 年より地域医療支援病院の認定を受け、地域の中核病院としての役割を担っています。

多分野にわたる経験豊富な専門医、指導医がおり、腎センター(透析)、周産期センター、がん

治療センター、内視鏡外科手術センター、精神科専門病棟の専門施設も併設します。

なお、内科、総合診療の後期研修制度も用意しており、学会教育施設として専門医資格取得も可能です。

■ 研修症例および指導体制の特徴

《内科》

【研修症例】

一般内科、糖尿病・内分泌(甲状腺)疾患、消化器疾患、腎疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、肝臓疾患、血液疾患など、症例数は各分野に幅広く多岐にわたります。中でも、甲状腺疾患は県内有数の患者数の診療を担当し、他施設の内分泌内科との合同カンファレンスも定期的に行っております。また、県内でも随一の号席施設を有し、血液透析だけでなく、

腹膜透析などの治療法も豊富に経験できます。当院は内視鏡症例が非常に多いのも特徴の一つです。(上部消化管内視鏡検査 2,501 例/年、下部消化管内視鏡検査 1,575 例/年、ESD58 例/年)。なお、関連施設として老健施設、訪問看護施設、健診施設等も併設されており、種々の職種のスタッフとの関連のもとに研修を展開していくことができます。

【指導体制】

数多くの内科認定医・専門医の直接指導のもと、患者の副主治医として診療に当たりますが、特定の臓器疾患にこだわらず、基本的診断能力や内科学

的全身管理の基礎が行える能力を養います。また、医療スタッフや患者様およびご家族の方々とのコミュニケーションを構築できることも重視したプログラムに

なっております。各種研究会、学会などには積極的に参加、発表を行えるよう内科だけでなく医局全体

《外科》

【研修症例】

当院外科では、平成 16 年度より宮崎大学から 1 年次、2 年次合わせて述べ 90 名の外科研修医を受け入れています。外科研修医は、一般・消化器外科の指導医と共に常時 5～10 名程度の患者を受け持ちます。手術には担当患者でなくても月曜～金曜まで毎回参加します。消化器外科の他に、甲状腺手

で研修をサポートしています。

術や血管外科の手術にも入ります。気管内挿管、腹水穿刺 などの手技や上部消化管内視鏡研修も行います。外科研修が 4 ヶ月から 2 ヶ月に短縮されてから研修してほしいことが多く、朝から夜まで忙しい研修にはなりますが、たくさん経験し充実した研修を希望される方には、ご期待に添えると思います。

【指導体制】

12 名の外科医(うち指導医養成講習会受講者 6 名)で研修医の指導に当たっています。一般・消化器外科で卒後 10 年以上の医師が 8 名(うち指導医

6 名)、卒後 10 年未満の医師が 3 名在籍しており、心臓血管外科は卒後 10 年以上が 1 名在籍して指導に当たっています。

指導医・先輩医師からのメッセージ

【初期研修医 2 年】

古賀総合病院の初期研修では、研修プログラムの選択性が高いことが 1 番の魅力であると思います。研修医が少人数であり、院内に診療科が多く揃っているのが研修の期間や内容は希望を聞き入れていただけることが多いです。また、ひとつの医局にいろいろな診療科の先生方がいるので、話をする機会が多くあります。小さなことでも先輩医師に相談しやすい雰囲気があり、とても研修はしやすく、勉強になります。

私は現在初期研修 2 年目であり、古賀総合病院の精神科で研修をしています。精神科は学生の頃から最も興味関心が高かった分野であり、自由選択として長期間研修させていただいています。精神科では様々な背景を持つ患者さんがおり、いろいろな話をする中で日々新しい発見があり楽しく研修しています。精神科の先生や他の職種の方々が親切で丁寧に指導していただいております、とてもよい経験ができております。

【初期研修医 1 年】

私が古賀総合病院を選んだ理由は 2 つあります。1 つ目は宮崎での研修を中心としながら県外でも研修することができることです。地元宮崎で働きたいという気持ちと県外でも働きたいという欲張りな私の希望にぴったりでした。2 つ目は雰囲気の良さです。私は古賀総合病院で実習させて頂いたのですが働きやすいような雰囲気の良さを肌で感じました。2 年間の大部分の時間を過ごす場所なので肌に合うというのはとても大事だと思います。

私は現在内科をローテートしています。まだ病棟に出たばかりなのですが簡単にどんなことを経験したかお話したいと思います。まず病棟の患者様を担当し病棟業務を学ぶだけでなく、外来を診られることを目標に外来業務も研修させて頂いています。また胸水が引ければ検査室でグラム染色して顕微鏡を覗いたり、当直の先生にお願いして一緒に救急外来の診察に参加させて頂いたり、とても伸び伸び楽しく研修しています。

■病院の概要

■病院長	遠藤 豊
■所在地	宮崎市大島町天神前 1171
■TEL	0985-24-6877
■研修実施責任者	遠藤 豊
■病床数	124 床
■年間入院患者実数	2,339
■一日平均外来患者数	256.2
■救急取扱患者数	16,009



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

内科、小児科

研修施設の特徴

地域の『かかりつけ医療機関』として、宮崎県内の 4 診療所、介護支援事業所、訪問看護・介護事業所、グループホーム、小規模多機能施設とともに、24 時間いつでもお応えできる医療機関として機能しています。当院の標榜科目は、内科、外

科、小児科、消化器科、循環器科、呼吸器科、肛門科、リハビリテーション科、小児アレルギー科です。また県内約 4 万 7,000 人の医療生協の組合員さんとともに保健予防活動、健診活動にも力を入れ、地域での健康づくりも担っています。

研修症例および指導体制の特徴

《内科、小児科》

【研修症例】

病床数 124 床、年間入院患者数は 2,000 人程度ですが、これまで受け入れてきた研修医は厚生労働省の定める 2 年間の初期研修中に経験すべき病態・疾患・手技等について 1 年目終了時点でほぼ全て経験できており症例数については問題ないと感じております。

【指導体制】

ほとんどの医師が指導医の要件である指導医養成講習会を受講済みで、コメディカルとも協力しながら 1 つの医局で科を超えて質の高い研修指導を実践しています。

また、個々人の進捗状況にあわせて研修がすす

疾患もいわゆる common disease から稀な専門疾患まで幅広く経験できます。問診と理学所見から鑑別を挙げ、診断にたどり着く診断能力の基礎を身につけ、往診、外来、入院まで一貫してみるプライマリを重視した研修を行っています。

められるよう毎月、研修医や指導医、看護師長などのコメディカルも参加して研修の到達度を評価しています。その他毎月、研修医会を開催し研修医が要望を出し合い満足度の高い研修が行えるよう改善に努めています。

【指導医からのメッセージ】

宮崎生協病院は2006年から初期研修を開始しました。問題解決型の診療スタイルを身につけるために初期研修の間は全身問診と全身診察を徹底的に行います。

毎日の全身診察を迫及することで正常所見と異常所見の見極めが自信を持つてできるようになります。症候から鑑別を挙げ診断に迫る研修を迫及します。

病棟医療に必要な基本的な手技を身につけることを目標とします。

個々人の研修の進捗状況に合わせて研修が進められるように毎月研修医と指導医・看護師長・研修担当事務で研修の到達度を評価します。

アットホームな医療環境と職員全体で研修をささえます。

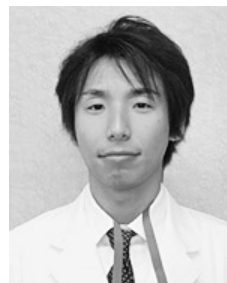
内科医・指導責任者 高田 慎吾



【研修医からのメッセージ】

- ① 専門性の高い医療機関と異なり、広く common disease が経験できます。
- ② 診療所と高度医療機関との間に位置する病院（二次医療機関）であるため、高度な医療が必要な患者さんを選別し適切な医療機関に紹介する経験ができます。

眞川 昌大（宮崎大学 2010 年卒）



■病院の概要

■病院長	山成 英夫
■所在地	宮崎市大字恒久 891-14
■TEL	0985-54-5353
■研修実施責任者	荒木 康彦
■病床数	73 床
■年間入院患者実数	20,158
■一日平均外来患者数	171.1
■救急取扱患者数	1,256



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

内科、外科

研修施設の特徴

宮崎市南部の幹線道路沿いに位置し、月曜日～金曜日は 8:30～18:00、土曜日は 8:30～14:00 の間、外来診療を受け付けている。外来棟は平成 20 年に新築している。

再診は予約制をとっている。病棟は平成 22 年から 7 対 1 看護体制を整えた。

設備的には一般尿血液、生化学検査、血液ガス分析、輸血関連検査が院内で実施可能であり、超音波診断装置、MD-CT、上部下部内視鏡検査を日常的に行っている。

平成 25 年 1 月より電子カルテ移行。

研修症例および指導体制の特徴

《内科》

【研修症例】

内科では、高血圧、糖尿病、肝疾患、脂質異常症、COPD などの慢性疾患の管理を中心に外来診療を行っており、入院では肺炎、気管支喘息重積状

態、急性および慢性肝疾患、糖尿病性昏睡などに対応している。

《外科》

【研修症例】

外科では鼠径ヘルニア、虫垂炎、痔核、胆石症、消化器悪性腫瘍を中心に手術を行っている。腹腔鏡の手術や内視鏡の手術を積極的に取り入れて

いる。また、悪性腫瘍の化学療法に力を入れている。消化管出血の内視鏡的治療も実施している。

《内科・外科》

【指導体制】

内科・外科ともマンツーマン体制で、1 年次の研修に必要な基本的臨床能力の取得に重点をおいている。

■病院の概要

■ 病院長	関屋 亮
■ 所在地	宮崎市新別府町江口 950-1
■ TEL	0985-26-1599
■ 研修実施責任者	廣兼 民徳
■ 病床数	106 床
■ 年間入院患者実数	2,804
■ 一日平均外来患者数	142
■ 救急取扱患者数	8,141



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

救急総合診療科

研修施設の特徴

日本救急医学会専門医指定施設であり、ER には経過観察ベッドが 4 床、初療室が 3 室あり複数の救急患者にも対応できます。

HCU もあるため HCU 管理も研修することができます。各科医師、コメディカルとの垣根がなく

つでも気軽に相談できる環境であり、指導意欲の高い医師が集まっています。

また院内にベッド、机を設けた研修医部屋もあり、研修医が気兼ねなく休むことができ、研修に集中することができます。

研修症例および指導体制の特徴

《救急》

【研修症例】

北米型 ER タイプの救急医療と総合診療を行っており、感冒や切創などの軽症例から集中治療、緊急手術を要する重症例まで様々な患者が受診します。外傷、急性腹症などの外科系の疾患が多いですが、敗血症、肺炎、尿路感染、胆道感染を

含む内科系疾患も多数診ることができます。

ER を受診するすべての患者の初療に積極的に関わってもらい、3 ヶ月間で研修医一人あたり約 350 人の初診患者を診療し、救急車は一人あたり約 150 台経験することになります。

【指導体制】

2 人の専従救急専門医がチーム指導を行います。

毎日帰宅前にポートフォリオを記載してもらい、その日経験した症例を振り返り、時には指導医からレクチャーを受けることができます。週 1 回の蘇生講習会で JATEC、ICLS など習得し、診療

で実践することができます。

また週 1 回問題解決型の症例検討会を行い初療や鑑別診断の方法を身につけます。臨床解剖実習では解剖体を使うことで CV 路確保などで必要な解剖学的知識を学ぶことができます。

■ 病院の概要

■ 病院長	岩村 威志
■ 所在地	宮崎市大字小松 1119
■ TEL	0985-47-5555
■ 研修実施責任者	岩村 威志
■ 病床数	446 床
■ 年間入院患者実数	4,608
■ 一日平均外来患者数	256.0
■ 救急取扱患者数	2,669



(平成 28 年度実績)

■ 研修受入診療科

外科、内科、脳神経外科、麻酔科、救急集中治療部、神経内科

■ 研修施設の特徴

病院は宮崎市西部、高速道近くに位置し、広い地域からの患者を受け入れている。患者は急性期から慢性期、リハビリと広範にわたる。

診断部門は画像診断、病理診断と充実し、治療は、内科治療をはじめ、一般的な手術、血管内治

療、内視鏡による低侵襲手術を行っている。悪性腫瘍については、化学療法、放射線治療部門があり、集学的治療を行っている。また、集中治療部門を中心とし、救急患者、重症患者の診療にあたっている。

■ 研修症例および指導体制の特徴

《外科》

【研修症例】

胃癌（上部消化管内視鏡検査、開腹手術、腹腔鏡下手術、EMR など）、結腸・直腸癌（下部消化管内視鏡検査、開腹手術、腹腔鏡下手術、EMR など）、胆石症（開腹手術、腹腔鏡下手術、内視鏡的乳頭切開術兼総胆管碎石術など）、イレウス、鼠径ヘルニア、虫垂炎の手術、その他、その他の小外科（粉瘤切除、皮膚腫瘍切除など）

当院は最新の内視鏡外科装置を導入しており、症例の半数以上は腹腔鏡下手術である。

麻酔科、整形外科、脳神経外科、病棟看護師と連携し、気管内チューブ挿管、血管確保、採血、それぞれの科の症例などの研修が可能である。

手術には第一助手か第二助手として参加してもらう。

【指導体制】

指導医責任者：岩村威志（外科消化器科主任部長・院長・宮崎大学医学部臨床教授）

指導医：黒木直哉（副院長）、佛坂正幸（外科部長）、樋口茂輝（外科医長）、吉山一浩（消化器科主任部長）

《麻酔科》

【研修症例】

麻酔件数 年間外科 454 例、整形外科 223 例、脳神経外科 142 例、耳鼻科 36 例（全身麻酔単独あるいは区域麻酔の併用で行う。）研修期間中 70～90 例を担当する。

各領域重症患者の集中治療管理 月 60 名 救急対応が 10～20 例/3 ヶ月

- ① 気道管理、人工呼吸、ブラッドアクセス等 70 例/3 ヶ月
- ② 緊急に対応すべき病態の症状・徴候
- ③ モニタリング
- ④ 輸液・輸血の基本から応用
- ⑤ 各種薬剤の基本と使い方の実際を学ぶ。

（教育ガイドラインについては潤和会記念病院ホームページ内麻酔科研修プログラムを PDF にて参照可能）

【指導体制】

指導医責任者：中村禎志（手術室部長）

指導医：小野洋一、濱川俊朗、成尾浩明、辛島 謙

《救急部》

《集中治療部》

指導責任者：成尾浩明（救急部長） 指導責任者：濱川俊朗（ICU 部長）

《脳神経外科》

【研修症例】

研修 3 年目

- 1) 診断・検査：神経学的検査法と所見・意識障害の判定、CT・MRI・SPECT の読影、腰椎穿刺、脳血管撮影（助手）
- 2) 患者管理・処置：術前術後の指示、頭部外傷患者管理
- 3) 手術：穿頭血腫除去術（術者）、開頭術（助手）、水頭症手術（助手）
- 4) 希望があれば院内ローテイト（放射線科、麻酔科等）

研修 4 年目

- 1) 診断・検査：脳血管撮影（術者）・頸部エコーの実施
- 2) 患者管理・処置：脳血管障害患者管理、脳腫瘍患者管理、ICU での全身管理
- 3) 手術：開頭術（術者）、水頭症手術（術者）、開頭血腫除去術（助手/術者）、クリッピング術など（助手）、血管内治療（助手）

研修 5-6 年目

- 1) 診断・検査：脳神経外科疾患の総合診断
- 2) 患者管理・処置：脳低体温療法、頭蓋内圧持続測定
- 3) 手術：開頭血腫除去術（術者）、脳腫瘍摘出術（術者/助手）、血管吻合術（術者/助手）、脳動脈瘤クリッピング術（助手）、血管内治療血栓溶解術（術者/助手）、コイル塞栓術、PTA（助手）。

【指導体制】

指導責任者：呉屋朝和（名誉院長）

日本脳神経外科専門医 3 名（1 名は宮崎大学臨床教授、また 1 名は脊髄外科指導医、1 名は脳卒中専門医）があり、1 名を卒後臨床研修の担当として他の 2 名と共同で指導に当たる。

■病院の概要

■病院長	白尾 一定
■所在地	宮崎市大坪西1丁目2番1号
■TEL	0985-51-7575
■研修実施責任者	白尾 一定
■病床数	269 床
■年間入院患者実数	延 75,075
■一日平均外来患者数	238.3
■救急取扱患者数	1,787



(平成28年度実績)

■研修受入診療科

内科、外科、形成外科

■研修施設の特徴

昭和30年11月に内科と外科の2診療科で、結核病床200床の肺結核の外科療法専門病院として開院しました。現在は病床269床で、内科、外科、整形外科、形成外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、循環器科の8診療科となっています。平成18年11月に「地域医療支援病院」として県知事の承認を受け、事実上地域医療の推進病院としての基盤を確立しました。

また、当院は平成26年4月より、独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO:Japan Community Health care Organization)の組織となりました。JCHO(ジェイコー)は社会保険病院、厚生年金病院、船員保険病院が一つになり、全国57病院、看護学校7施設、健康増進ホーム3施設と研修センターからなります。

■研修症例および指導体制の特徴

《内科》

【研修症例】

循環器、腎臓、消化器を中心とした一般内科が対象です。全体的に高齢者が多いのが特徴です。

【指導体制】

各研修医に一人の指導医をつけますが、小規模内科なので内科医全員でバックアップする形になります。

《外科》

【研修症例】

甲状腺、乳腺、胸部、腹部まで幅広く癌を中心にした治療を行っています。

外科の全身麻酔症例は、200例を超え、胃癌、

大腸癌、直腸癌、乳癌、肺癌、甲状腺癌などの悪性疾患や胆石、総胆管結石、急性虫垂炎、気胸などの良性疾患や緊急手術にも対応しています。

【指導体制】

診断から治療まで一貫して患者さまを診療できる体制が整っています。

当院はチーム医療を推進しており、がん治療支

援チーム、緩和医療チーム、栄養サポートチームなどの多職種チームによる患者サポートを行います。

《形成外科》

【研修症例】

手や顔面の外傷、皮膚・皮下腫瘍、熱傷、難治性潰瘍、瘢痕痕（きずあと）、先天異常など体表面の疾患を専門に扱います。特にマイクロサージ

ャリーを用いた手や指の切断および高度外傷、悪性腫瘍切除後の遊離組織移植・再建などは県内各地より多くの症例が紹介され治療を行います。

【指導体制】

形成外科専門医を指導医として形成外科症例を研修します。形成外科として取り扱う疾患のレ

クチャー、実際の手術見学や介助、縫合手技や術後管理についても指導を行います。

■病院の概要

■病院長

久保 紳一郎

■所在地

宮崎市村角町高尊 2105

■TEL

0985-28-8555

■研修実施責任者

久保 紳一郎

■病床数

96 床

■年間入院患者実数

1, 945

■一日平均外来患者数

277

■救急取扱患者数

-



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

整形外科、泌尿器科

研修施設の特徴

急性期の病院で手術・外来とも症例が多い

研修症例および指導体制の特徴

《整形外科》

【研修症例】

脊椎・膝関節（靱帯損傷）・人工関節・骨頭の手術

【指導体制】

脊椎・関節（膝・股）に専門の医師が指導します。

脊椎は顕微鏡下、関節は関節鏡視下で最小切開手術を行っています。

《泌尿器科》

【研修症例】

ホルミウムレーザーによる結石除去術・前立腺切除術等の手術・腹腔鏡手術

【指導体制】

最新の器材によるレーザーの結石除去術、前立腺切除術を行い、症例数も多いです。

■病院の概要

■ 病院長	金丸 禮三
■ 所在地	宮崎市池内町八幡田 803
■ TEL	0985-39-8484
■ 研修実施責任者	奥 隆充
■ 病床数	100 床
■ 年間入院患者実数	748
■ 一日平均外来患者数	29
■ 救急取扱患者数	429



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

脳神経外科

■研修施設の特徴

当院は宮崎市北部（平和台公園北側）に位置する脳神経外科の病院、急性期と回復期を中心とした医療提供を行っております。病床数は、一般 52 床、回復期リハビリ 48 床、合計 100 床です。「脳卒中」における急性期を担う中核病院として、CT、MRI（3.0 テスラ）、脳血管造影が 24 時間いつでもできる体制をとっております。

現在、宮崎大学医学部附属病院脳神経外科医 1 名と、同救命救急センター医 1 名による定期的な外来診療も行っており、また併設している「脳卒中予防センター」では、企業検診や 3T MRI を用いた専門医による「脳ドック」を行っており、宮崎市郡地域の脳卒中予防にも力を注いでおります。

■研修症例および指導体制の特徴

《脳神経外科》

【研修症例】

迅速に患者さんの治療に対応できるよう、救急患者さんに対して 24 時間体制（医師、看護師、放射線技師、事務スタッフ）をとっています。そのため、夜間でも画像診断や各種の治療に欠かさない適切な検査が施行できる状態です。

また、重症患者さんに対し、ICU での密度の高い医療を提供できるよう整備しております。

以上の様に救急患者さんの診断・治療（手術を含む）から一般外来の対応、プライマリーな診断、治療も行っております。

【指導体制】

脳神経外科専門医 2 名、整形外科専門医 1 名と医師数は少ないですが、それぞれ経験 20 年以上

のベテラン揃いです。比較的ゆったりしたペースで指導出来るのが特徴です。

■病院の概要

■病院長	駒木 幹正
■所在地	宮崎市丸山 2-112-1
■TEL	0985-32-7170
■研修実施責任者	前田 資雄
■病床数	36 床
■年間入院患者実数	1,065
■一日平均外来患者数	127
■救急取扱患者数	-



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

乳腺科

研修施設の特徴

乳癌をおもな診療対象とする乳腺単科専門病院です。病床はすべて個室で、治療前後の患者様が安心して専門診療を受けられる環境を提供しています。年間の乳癌手術症例数は最近 3 ケ年平

均で 364 例。常勤医師は 7 名、非常勤医師 6 名。うち乳腺専門医 4 名、乳腺認定医 3 名。

本院では、乳房再建、陥没乳頭などの形成外科手術にも取り組んでおります。

研修症例および指導体制の特徴

《乳腺科》

【研修症例】

本院の診療の最大の特徴は非浸潤癌や 1cm 以下の小さな乳癌の発見とより正確確実な病理診断です。微小な病変部からいかに正確に乳癌の診断を下すかを学べます。一方、いまだに多い進行乳癌に対して様々な化学療法剤、分子標的治療剤、

内分泌的薬剤を駆使して、これに局所手術療法を行い予後の改善を図っています。

研修医の先生には超早期から局所進行乳癌までの診断と手術を含む治療を指導医と一緒に担当して頂きます。

【指導体制】

指導は乳腺専門医および乳腺認定医が担当します。研修内容は画像診断をはじめとする臨床診断、生検法、乳癌手術、センチネルリンパ節生検、乳癌化学療法など多岐にわたるものです。

カンファレンスは手術カンファと治療カンフ

ァが週 1 回行われ、医師のほか技術系職員も参加しています。この他、病棟カンファや院内コンセンサスミーティングを行って、症例の個別検討や本院での乳癌治療基本方針に関する議論等を行っています。

指導医・先輩医師からのメッセージ

私どもの病院は乳房疾患、とくに乳がんの診療を専門とする病院です。ひたすら、『乳がん患者さんに寄り添い、乳がんを治すこと』に全職員が丸となって日々、それぞれの立場で頑張っています。このため、他の病院に見られない様々な診

療のためのシステムが外来、手術室、病棟、病理部、事務部で稼働しています。

是非、わが病院に来てください。見学、研修も随時受付中。

■病院の概要

■病院長	白土 俊明
■所在地	宮崎市宮田町 7-37
■TEL	0985-28-2801
■研修実施責任者	水野 謙太郎
■病床数	127 床
■年間入院患者実数	449
■一日平均外来患者数	158
■救急取扱患者数	-



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

精神科

研修施設の特徴

デイケア及び訪問看護並びに支援アパートを充実させ入院期間を極力圧縮して、患者さんの社会性の維持に力を注いでいる。

また、作業療法士、心理療法士並びにケースワーカー等を多数配置して、患者さんの治療及び生活を総合的にサポートする体制が充実している。

研修症例および指導体制の特徴

《精神科》

【研修症例】

統合失調症が治療の主体だが、全体的に患者さん平均年齢は若い。

【指導体制】

指導医のほか、精神保健福祉士、心理療法士及び作業療法士等からも研修の中で治療及び支援の中身について説明を行うと共に、支援アパート等の見学や訪問看護への同行なども実際に行い、

病院が患者さんの早期の社会復帰をシステムとしてどのように実現しているか、総合的に学べるよう工夫している。

指導医・先輩医師からのメッセージ

平成 23 年 8 月より精神科救急病棟を開設しました。
精神科救急の現場についても、研修を積んでもらえる環境です。

■ 病院の概要

■ 病院長

高宮 眞樹

■ 所在地

宮崎市吉村町大町甲 1931 番地

■ TEL

0985-24-5678

■ 研修実施責任者

徳丸 潤

■ 病床数

231 床

■ 年間入院患者実数

298

■ 一日平均外来患者数

111

■ 救急取扱患者数

-



(平成 28 年度実績)

■ 研修受入診療科

精神科

■ 研修施設の特徴

当院は、精神一般病棟 190 床と精神科急性期治療病棟 41 床の精神科単科病院で、常勤の精神科医 6 名、非常勤精神科医 3 名（うち精神保健指定医 9 名）、内科医 1 名で診療を行っており、病院理念である「良い資質を持ったスタッフと最善の環境」を目指して常に患者様に最善のケアがご提

供できるよう努めております。

また、特別養護老人ホーム三愛園、グループホームもみのき苑、精神科デイ・ケア、訪問看護、外来リハビリ等、退院後の社会復帰等の支援も充実させております。

■ 研修症例および指導体制の特徴

《精神科》

【研修症例】

統合失調症、気分障害、認知症、パニック障害、適応障害、物質依存などの様々な疾患を有する、幅広い年齢層の症例の急性期から回復期、社会復帰まで対応しています。外来患者が多く、さまざ

まな病態の診断、検査、治療について基本的な知識を身につけることができます。精神科急性期治療病棟からデイ・ケア、訪問看護までの治療の流れに沿った研修が可能です。

【指導体制】

常勤精神科医 6 名（うち精神保健指定医 6 名）が在籍しております。日本精神神経学会の研修施

設になっており、学会認定の指導医、専門医が指導いたします。

■病院の概要

■ 病院長	倉山 茂樹
■ 所在地	宮崎市福島町寺山 3147 番地
■ TEL	0985-51-1548
■ 研修実施責任者	倉山 茂樹
■ 病床数	192 床
■ 年間入院患者実数	189
■ 一日平均外来患者数	50
■ 救急取扱患者数	39



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

精神科

■研修施設の特徴

- ・ 精神科急性期治療病棟 40 床
- ・ 精神科一般病棟 103 床
- ・ 精神科療養病棟 49 床
- ・ デイケア（大規模）
- ・ 訪問看護
- ・ 作業療法
- ・ グループホーム

「患者のみなさまは私たち職員一人一人の家族です。この気持ちで医療に奉仕します」を経営理念として精神医療に取り組んでいます。

■研修症例および指導体制の特徴

《精神科》

【研修症例】

将来精神保健指定医取得の為のさまざまな症例を入院患者として診療できる。

精神保健福祉センター、保健所の精神衛生相談、老健施設の診察や在宅患者への診察にも先輩医師と共同して研修できる。

【指導体制】

指導医をはじめ 5 人の精神科医の指導を受けることが可能。

週 1 回宮崎大学安全衛生保健センターの教授（精神科医）が診療に来ておりその指導も受けることができる。

■指導医・先輩医師からのメッセージ

宮崎県で一番の歴史をもつ精神科病院です。若い医師も多く病院内だけでなく院外にも積極的に出ているのでグローバルな精神科研修ができると思います。

将来精神科医にならなくても精神科の患者さんと接することは医師との患者の対応を学ぶ上で非常に有用であると思います。

■ 病院の概要

■ 病院長	前田 啓一
■ 所在地	宮崎市大字塩路江良ノ上 2783-37
■ TEL	0985-39-7630
■ 研修実施責任者	宮田 義史
■ 病床数	108 床
■ 年間入院患者実数	31,071
■ 一日平均外来患者数	138.5
■ 救急取扱患者数	97



(平成 28 年度実績)

■ 研修受入診療科

内 科（呼吸器内科、消化器内科、リウマチ科、神経内科、糖尿病代謝内科）

■ 研修施設の特徴

当院は、宮崎市の北部、市民の森やシーガイアに隣接しているので、緑豊かで心安らぐ、病気治療に適した素晴らしい環境の中にあります。
病院は昭和 58 年に開設され、患者さんのために医療は存在するという理念の下、
◎患者さんの立場に立って医療を行う、
◎最新、最善の診断と治療を行う、
◎早期社会復帰の為にリハビリを行う、

◎地域社会の健康増進へ貢献するという基本方針に沿って医療活動を行っています。

常勤医のほとんどが宮崎大学病院の医局出身で、学生時代より縦横のつながりのある医局員で構成されていることもあり、医局の雰囲気はとてもアットホームで、診療科ごとの連携がよく取れているので、とても働きやすい病院です。

■ 研修症例および指導体制の特徴

【研修症例】

当院での臨床研修において経験する頻度の高い疾病は以下のとおりです。

《消化器内科》

胃癌、大腸癌、食道癌（内視鏡診断、内視鏡治療、術前診断、化学療法）、大腸ポリープ（内視鏡診断とポリペクトミー）

消化管出血（原因検査、内視鏡止血術）

消化管感染症（細菌性腸炎、偽膜性腸炎などの診断と治療）

内視鏡的胃瘻造設術（胃瘻造設と長期管理）

※特に、健診センターが併設されていることもあり、人間ドックと病院施行の内視鏡件数を合わせると、年間の内視鏡件数は上部が 7,821 件、下部（全大腸+S 状鏡）2,734 件の症例数がありますので、内視鏡について勉強する機会が大いにあります。

《呼吸器内科》

慢性閉塞性肺疾患（診断と治療、人工呼吸管理）
肺炎（市中肺炎～難治性・重症肺炎の診断と治療、人工呼吸管理）
肺腫瘍（診断：気管支鏡検査）

《リウマチ科》

関節リウマチ（診断と治療、生物学的製剤投与）
膠原病（診断と治療）
リウマチ性肺疾患（呼吸器科と共同診療）
※特に、関節リウマチ患者数は約 1100 人、生物学的製剤投与数（現在）約 250 例の患者さんが当院で治療を受けておられるので、リウマチに関して勉強する機会が大いにあります。

《神経内科》

パーキンソン病（診断と治療、長期管理）
脳血管障害（急性・慢性期管理、リハビリテーション）
慢性神経疾患（ALS、ニューロパチーの長期管理）

《糖尿病代謝内科》

経口血糖降下剤やインスリン製剤による血糖管理
糖尿病患者の教育・指導

【指導体制】

当院では以下の指導医、学会認定専門医、資格を有する医師と研修医が共同主治医として患者を受け持ち、専門性の高い診療をマンツーマンで指導します。

臨床研修指導医講習受講者（2 名）

学会資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、日本リウ

マチ学会専門医・指導医、日本アフェレシス学会専門医、日本神経学会専門医

専門資格：インфекションコントロールドクター（ICD）、日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医

教育認定施設：日本消化器内視鏡学会、日本リウマチ学会、日本アフェレシス学会

教育関連施設：日本神経学会

指導医・先輩医師からのメッセージ

今、医療の現場は高齢化社会により、疾病を抱えた高齢の患者さんでいっぱいです。

これは、宮崎に限らず日本国内であれば東京などの大都市でも同じ状況にあります。

ですから、すべての診療科の医師にとって、高齢者の身体に関する知識と高齢患者さんを診るスキルは必須です。

当院は、周辺の老人保健施設や療養型病院の後方支援を担っているため、高齢者医療を医療の面のみならず、社会的側面など総合的に学べて、研修医の先生方の貴重な経験を得ることのできる施設だと自負していますので、ぜひ市民の森病院へ勉強に来てください。

一般財団法人弘潤会 野崎病院

■病院の概要

■病院長

野崎 正太郎

■所在地

宮崎市大字恒久 5567 番地

■TEL

0985-51-3111

■研修実施責任者

川添 哲志

■病床数

460 床

■年間入院患者実数

825 (精神科のみ)

■一日平均外来患者数

53.2 (精神科のみ)

■救急取扱患者数

16 (精神科のみ)

(平成 28 年度実績)



■研修受入診療科

精神科

■研修施設の特徴

認知症疾患センターの指定をうけ、認知症の症例が多く、近医からの鑑別診断、BPSD に対する治療依頼が多い。

■研修症例の特徴

認知症の診断と治療、急性期及び慢性期の統合失調症、うつ病の治療、認知行動療法

■研修症例および指導体制の特徴

精神 400 床、療養 60 床の精神科病院。日本精神神経学会精神科専門医研修認定施設。認知症疾患医療センターの指定を県より受けており、認知症の鑑別診断や BPSD の治療などを数多く経験することができる他、統合失調症、気分障害など様々な症例を経験できる。

入院や外来治療の他、デイケア、訪問看護等による地域生活支援にも力を入れている。内科、放射線科、リハビリテーション科、歯科などの他科医師や理学療法士・言語聴覚士も在籍しており、身体合併症管理、画像診断、摂食機能療法など幅広く経験することができる。

県立日南病院

■病院の概要

■病院長	峯 一彦
■所在地	日南市木山 1-9-5
■TEL	0987-23-3111
■研修実施責任者	原 誠一郎
■病床数	334 床
■年間入院患者実数	79,947
■一日平均外来患者数	371
■救急取扱患者数	4,189



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

内科、整形外科、外科、脳神経外科、麻酔科、産婦人科

研修施設の特徴

大学病院から南へ進路をとります。真っ青な太平洋となだらかな緑の稜線との間の日南海岸のドライブを 1 時間楽しむと、小高い丘の上に聳え立つ六階建ての病院が見えてきます。私たちの愛する宮崎県立日南病院です。

当院は県南地区（日南市、串間市）の中核医療機関として、二次救急を担う総合病院です。13 診

療科の常勤医 38 名の医師たちが熱い心で日夜診療に当たっています。（この他にも、宮崎大学医学部各医局から多くの先生方が非常勤医師や応援医師としてご協力くださっています。）

常勤医すべてが宮崎大学医学部の医局出身であることから、診療科の垣根を越えたアットホームな雰囲気にあふれています。

研修症例および指導体制の特徴

《内科 / 循環器内科》

【研修症例】

当院内科では高齢者における common disease をはじめとして、呼吸器、循環器、腎臓、消化器、内分泌・代謝、感染症、アレルギー・膠原病、神経のジャンルを問わず内科全分野の様々な疾患を経験できます。研修の主体は病棟業務になります。入院患者の問診から始まり、身体

診察、検査結果解析、治療方針立案、退院サマリー作成などを日々の診療、カンファレンス、病棟回診を通じて修得していただきます。当院は県南医療圏の二次救急を担っているため、昼夜を問わず行われる救急医療も体験できます。

【指導体制】

宮崎大学の 4 つの内科から派遣されている 10 名の常勤医が研修医をサポートします。担当症例ごとに専門医が指導できます。

内科/循環器内科の合同カンファレンスは毎週

水曜日午後に行っています。

研修医に対しては、他の診療科の先生方が気軽に声を掛けてくださるのも当院の大きな魅力のひとつです。

《外科》

【研修症例】

当院外科では主に救急外科疾患、消化器疾患中心の研修を考えています。腹部疾患の外来対応から、エコー検査、内視鏡検査、CT 検査・読影も含め、基礎的な内容を研修して頂きます。さらにはソケイヘルニアや虫垂炎、腹腔鏡下胆嚢摘出術、胃癌、大腸癌の患者さんの担当を指導医主導のもとに担ってもらうとともに、指導医と一緒に手術にも入って頂きます。

年間の外科手術症例は約 400 例です。また当院の事情により、進行・再発癌患者さんの化学

【指導体制】

研修医の先生方は指導医のもと、マンツーマンで指導を受けて頂きます。手術につきましてはヘルニア、虫垂炎、腹腔鏡下胆嚢摘除術、胃・大腸・乳癌手術など心臓血管外科以外の各種手術について頂きますが、その都度その手術の執

療法も主に外科が担当しており、癌化学療法の研修や勉強をすることも可能です。

もし研修内容に余裕があり、希望があれば、乳腺外科疾患や呼吸器外科疾患の手術にも入って頂くことが可能です。

最終的にはその研修医の希望に沿った疾患や処置・手術などの研修を行ってもらいますが、ルート確保や CV 留置、挿管（麻酔医協力のもと）、胸腔ドレーン留置などの手技の習得も目指して頂きます。

刀医から開腹、閉腹、閉創、ドレーン留置などの指導を受けることもできるようにしています。わきあいあいとした中で、各領域の外科医の指導を受けることが可能で、有意義な研修医生活が送れるのではと考えています。

《産婦人科》

【研修症例】

当院産婦人科は宮崎県周産期二次医療圏の県南地区を担っています。このためハイリスク妊産婦はもちろん、周辺開業医からの母体搬送、新生児搬送を広く受け入れています。

しかし、大学病院とは異なりいわゆる low risk の自然分娩も扱っており、月に 10 件ほどの自然分娩に立ち会うことが出来ます。やる気があれば分娩介助（児の娩出のやり方）などを経験できるかもしれません。

また婦人科領域でも、良性疾患から悪性疾患、急性腹症などを経験できます。悪性疾患では子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌の手術、術後化学療法、放射線療法を行っています。

【指導体制】

研修医の先生方には病棟担当医とともに病棟の処置を行っていただきます。その間に進行中の分娩や手術症例、抗癌剤の投与などを行っていただきます。

また、女性の腹痛のため救急外来からコンサルトを受けることもあり、研修医にとっては身近な存在の急性腹症を婦人科サイドから見ることが出来、今後救急外来の当直をする上で良い勉強になると思います。

当科は 3 人で、分娩、新生児集中治療室(NICU)、手術、化学療法、外来を行っており、昼夜を問わず分娩、母体搬送、新生児搬送があるため、毎日とても忙しいですが、充実した研修が送れると信じています。

毎朝 7 時半から NICU の回診を行い、赤ちゃんの採血や超音波、ルート確保なども行っていました。

指導医・先輩医師からのメッセージ

当院外科での研修では当院の医局全体の連携もよいため、外科研修だけではなく、希望があれば他科の診療や手術見学なども可能です。

また、CV 留置や挿管など特定の手技の習得に限った修練も可能です。気軽に御相談ください。また、事前の見学や体験修練も可能ですので、ぜひ御相談ください。さらには時間外のレクリエーションや飲み会も多く、和気あいあいとした楽しい研修生活が送れると思います。



（写真は縫合・吻合・糸結び研修風景）

■病院の概要

■病院長	布井 博幸
■所在地	日南市大字風田 3649 番 2
■TEL	0987-23-3131
■研修実施責任者	布井 博幸
■病床数	184 床
■年間入院患者実数	517
■一日平均外来患者数	59
■救急取扱患者数	-

(平成 28 年度実績)



■研修受入診療科

小児科

■研修施設の特徴

愛泉会日南病院は、平成 14 年に旧国立日南病院より移譲され、宮崎大学医学部と連携しながら妊娠出産時または小児期に受傷され重症心身障害児となられた患者さんの医療的ケアや療育を担当している重症心身障害児者施設(126 床)と宮崎南部から大隅半島にかけた患者さんを中心とした内科部門(血液内科を含む 58 床)を併設する

病院です。

また、「疾病制御研究所」を併設し、ウイルスを中心とした周産期における風疹、サイロメガロウイルス等の先天性感染症の検査法の開発と遺伝子診断、免疫学的診断など最先端の技術を有しています。

■研修症例および指導体制の特徴

重症心身障害者医療の基礎知識の習得、診察、検査、治療の診療を行います。患者さんの小児期での受傷機転から現在までを評価し、今であれば介入できた医療技術や知識に鑑みながら、現在の病態の改善を目指すチーム医療をしていきたいと思っています。ここでは、看護師、保育士、リハビリ部門(PT・OT・ST)、栄養士が医療の中心で

す。医師としては、整形外科医 3 名、産婦人科医 2 名、小児科 1 名と小児科、皮膚科、耳鼻咽喉科の非常勤医も参加しており、チーム医療を支えています。

みなさんの将来のチーム医療としての重症心身障害児者医療という大切な経験をしていただければ幸いです。

■病院の概要

- 病院長
- 所在地
- TEL
- 研修実施責任者
- 病床数
- 年間入院患者実数
- 一日平均外来患者数
- 救急取扱患者数

谷口 浩
 日南市大字風田 3861 番地
 0987-23-1331
 谷口 浩
 310 床
 189
 145
 -



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

精神科

研修施設の特徴

精神一般、認知症の 2 つの病床機能のほか、社会復帰施設も併設している。
 地域社会への復帰の為に細分化し、治療プログラ

ムにおいても医師を中心として、コメディカルの関りを多く持つ体制を整えております。

研修症例および指導体制の特徴

《精神科》

【研修症例】

統合失調症、気分障害、認知症を中心として、様々な症例を有しております。

【指導体制】

精神保健指定医、専門医、指導医による精神科領域の様々なフィールドに対するきめ細やかな指導が可能である。

また、外部より大学教授を招き、指導に組み込んでおります。

■病院の概要

■病院長	藤元 秀一郎
■所在地	串間市大字西方 3728 番地
■TEL	0987-72-0224
■研修実施責任者	藤元 ますみ
■病床数	434 床
■年間入院患者実数	345
■一日平均外来患者数	172.6
■救急取扱患者数	-



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

精神科

研修施設の特徴

当院は精神科病床 272 床、認知症疾患治療病床 92 床、医療療養病床 22 床、介護療養病床 48 床を有する複合型の精神病院です。また、平成 25 年に新築されたメンタルケア病棟の最上階には有料老人ホームを開設しております。日本精神神経学会、日本老年精神医学会、日本認知症学会専

門医研修施設であり、日本医療評価機構及び ISO9001 の認定を取得しております。時代と地域のニーズに答えながら、医療、介護、福祉の最善のトータルケアが提供できるように日々取り組んでいます。

研修症例の特徴

統合失調症、気分障害、認知症、神経症性障害、発達障害をはじめとして幅広い症例の研修が可能です。一般精神医療の他身体合併症の専門的治療を経験できます。入院治療はもちろんのこと精神科デイ・ケア、重度認知症デイ・ケア、精神科

訪問看護、グループホーム、保健所の精神衛生相談までリハビリテーションからアフターケアまで精神科医療をトータルに理解できる症例を経験することが可能です。

研修指導医および指導体制の特徴

当院には、精神保健指定医 5 名、精神神経学会専門医 2 名、老年精神医学会専門医 1 名、日本認知症学会専門医 1 名が在籍しています。午前中は外来に陪席し、予診をとり、病歴聴取を行い主治医が指導を行います。午後は病棟研修や精神科リ

ハビリテーションへの参加、様々な院外研修を行います。定期的に指導医及び研修医との研修指導に関するミーティングを開催します。診療責任は指導医が担います。

指導医・先輩医師からのメッセージ

精神科的プライマリー・ケアの素養を身につけるための指導を行います。精神科研修を通じて、病める人の気持ちを汲み、それを癒す姿勢を培ってもらえればと思います。緑豊かな地域でゆったりと一緒に研修しましょう。全職員があなたの研修を応援しています。



県立延岡病院

■ 病院の概要

■ 病院長	柳邊 安秀
■ 所在地	延岡市新小路 2-1-10
■ TEL	0982-32-6181
■ 研修実施責任者	寺尾 公成
■ 病床数	460 床
■ 年間入院患者実数	7,586
■ 一日平均外来患者数	418
■ 救急取扱患者数	5,811



(平成 28 年度実績)

■ 研修受入診療科

内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科・周産期科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救命救急科、臨床検査科、病理診断科

研修施設の特徴

本院は、病床数 460 床、20 診療科並びに 5 センター（救命救急、心臓血管、脳神経、周産期、消化器）を有する急性期型病院で、延岡西臼杵医療圏と日向入郷医療圏の 2 つの医療圏の二次・三次医療を担っています。がん診療や救急医療を数多

く手がけ、高度先進医療手術数も宮崎県下有数を誇っています。平成 25 年 3 月からは、屋上ヘリポートを備えた新救命救急センターが運用を開始しています。

研修症例および指導体制の特徴

〈概要〉

【研修症例】

本院は、宮崎県北地域の中心的医療機関であり、急性期病院としての症例が多い病院です。

一次疾患のプライマリー・ケアから、多発外傷や循環器疾患、脳神経疾患、ハイリスク周産期疾患など高

度医療を必要とする二次・三次疾患の診断・治療を実践し、他の地域・病院では経験しがたい多様な臨床症例を研修することができます。

【指導体制】

本院では、宮崎大学医学部附属病院の研修協力病院として、大学病院の診療科中心の専門的な医療＝縦軸に対し、診療科横断的な多様な症例の検討＝横軸を経験することが可能です。これによりあたかも縦系と横系が布を織りなすように、医師としての能力に磨きをかけられるものと考えています。

研修指導の特長としては、平成 21 年度から発足させた「研修医当直制度」、すなわち、本院の特徴的な部門である「救命救急センター」の夜間・休日の当直

において、所属科以外の常勤医師と一緒に当直する制度があります。これにより、他科の医師と接触する機会が増え、診療科を越えた連携を学びつつ、救急医療に従事することが可能となります。

また、平成 22 年度からは、「研修医セミナー」として、各科の常勤医師が持ち回りで、全研修医を対象に、月 2 回「各科独自の救急」をテーマに、講演や実習を行う制度を取り入れるなど、充実した研修内容となっています。

《救命救急科》

【研修症例】

当院は県北唯一の救命救急センターを要しており、県内で最も多くの救急車を受入れています。そのため、重症症例も多く、毎年100人以上のCPA症例を受入れています。

【指導体制】

平成29年度より、救命救急科専任医師3名が赴任し、指導体制もさらに充実しています。

平日・昼間に救急車が来た時は、救急外来にて救急専門医の指導の下で、二次、三次の重症救急症例の診療にあたっています。

また、多発外傷、敗血症、薬物中毒等の救急疾患は救命救急科医師が主治医となり、入院を担当しています。

また、県北での一次救急が脆弱なこともあり、一次救急の症例も多く受入れており、多彩な症例を診ることが出来ます。

ます。

夜間・休日の当直時には、内科系1名、外科系1名の合計2名の当直医と当直を行います。当院はオンコール制をとっていて、重症症例であれば、すぐに担当診療科をコールして、専門的な治療を一緒に行うことができるようになっています。

当院の救急研修の特徴は以下のとおりです。

1. まず症例の数や種類が県内でも圧倒的に多いこと。その診療を実際に自分で行うことにより、臨床力が確実に身に付きます。
2. 救急外来でも手術室でも、当直時でも、各科の専門医と診療にあたるため、各科の専門的な知識の教育が受けられます。
3. 実践力を身につけさせることを目標にしているため、胸腔チューブ挿入や、挿管などの手技は専門医の指導の元で出来るだけ多く行わせるようにしています。
4. 救急外来を診るだけでなく、救急患者の手術と一緒に参加したり、骨折の整復や、心筋梗塞のカテーテル治療を最後まで見学・参加することによって、救急疾患の起承転結を最後まで把握することが出来るようになります。

指導医・先輩医師からのメッセージ

来たれ！漲る情熱を抱きし君よ

卒後臨床研修管理委員長（副院長） 寺尾公成

本院は宮崎県北地区にあって、「救急医療」と「高度医療」を兼ね備えた唯一の総合医療機関です。

平成25年3月、ヘリポートを併設した「救命救急センター」がオープンし、同センターの2階には「研修医ルーム」を設置して、「頭上にはヘリコプター！足下には救急車！」を合い言葉に、研修医同志による「**横連携**」のもと、切磋琢磨しながら日々研鑽を積んでいます。また、本院の代名詞的存在である「救命救急センター」の夜間・休日の当直においては、様々な診療科の常勤医師（内科系・外科系）と一緒に当直することで、医師としての「**縦連携**」を学びながら、救急医療に従事する体制を取っています。そして、「研修医セミナー」（月2回開催）と称し、各科の常勤医師が持ち回りで、「各科独自の救急」をテーマに、講義や実習をしたり、「病院学会」（年2回開催）では、全職員の前で演題発表を行うなど、「**Off-the-Job Training**」の充実にも病院を上げてバックアップしています。

豊富な症例・指導医を通して学ぶ研修は、他では決して経験できない貴重なものになるものと確信しています。

情熱ある研修医諸君を待っています。



■ 病院の概要

■ 病院長	吉田 建世
■ 所在地	延岡市松原町 4-8850
■ TEL	0982-37-0126
■ 研修実施責任者	吉田 建世
■ 病床数	307 床
■ 年間入院患者実数	534
■ 一日平均外来患者数	125.6
■ 救急取扱患者数	-



(平成 28 年度実績)

■ 研修受入診療科

精神科

研修施設の特徴

当院は、入院 307 床（精神科一般病棟 54 床・精神科療養病棟 166 床・認知症治療病棟 45 床・精神科急性期治療病棟 42 床）の精神科病院で「ゆったりとした心で過ごせるように患者様の心身の健康を守ります。」の理念の元、開かれた病院を目指しております。平成 29 年 10 月より、宮崎県からの指定を受け「認知症疾患医療センター」が開設されました。地域における認知症疾患診療の拠点として、他の医療機関、介護福祉施設と連

携し、質の高い診療情報を提供してまいります。外来部門として、訪問看護と精神科デイケア・デイナイトケア、重度認知症デイケアを行い、関連施設として、宿泊型自立訓練施設「はまぼう荘」、延岡市地域活動支援センター「みなと」を持っており、社会復帰活動にも力を入れています。

この臨床活動を通じ、精神科地域医療の重要性とその役割が学べることを目指しております。

研修症例および指導体制の特徴

《精神科》

【研修症例】

当院は、地域に根差した精神科医療を実践しており、年齢層は子供から高齢者まで、疾患としては統合失調症、気分障害を始めとして、認知症やアルコール依存症、神経症性障害、不登校等、幅広い症例が研修できます。

この中でレポートが必須となっている、統合失調症、気分障害、認知症については、必ず入院患者を担当して頂きますが、その他の症例につきましてもご希望があれば、入院、・外来を問わず柔軟に対応しています。

【指導体制】

当院には、常勤の精神保健指定医 5 名、精神科専門医 4 名（重複含む）が在籍しています。

毎日午前中は外来に陪席し初診担当医が、レポート症例についてはその症例の主治医が個別に指導し、毎週月曜日の医局会にて入退院報告、症

例検討等を行っています。

主要な疾患については各担当医が小講義を行い、訪問看護の同行やデイケア参加も取り入れています。平成 22 年度は熊本大学 5 名、宮崎大学 2 名の研修医を受け入れております。

指導医・先輩医師からのメッセージ

一緒にゆったりと楽しく研修しましょう。夜の院外研修も O.K です。

宮崎県済生会日向病院

■病院の概要

■病院長	林 克裕
■所在地	東臼杵郡門川町南町4丁目128
■TEL	0982-63-1321
■研修実施責任者	中平 孝明
■病床数	199 床
■年間入院患者実数	1,762
■一日平均外来患者数	266
■救急取扱患者数	1,804

(平成28年度実績)



■研修受入診療科

外科、脳神経外科

研修施設の特徴

済生会日向病院は、恩賜財団済生会が宮崎県に設置した病院で、県北の地域医療を支えている公的な中核病院です。平成27年6月に外来診療棟の新築工事が完了し、手術・検査部門も含め診療環境が一新されました。

病床数199床の中規模病院ですが、この規模の病院としては救急や手術の症例が多く、頭部から胸腹部、四肢までプライマリーケアの研修に適し

た病院であると思います。これまで当院で研修した皆さんは、指導医とペアで診療に当たり、必要に応じた専門職の教育や指導もあって、総合医に必要な、ほぼ全領域をカバーする初期診療の技術や手技を学ぶことができたと評価して頂いております。

海浜に隣接した当院は自然環境に恵まれ、研修医の住居も完備しています。

研修症例および指導体制の特徴

《外科》

【研修症例】

- ・一般外科の診療、救急疾患の診療（外科）

【指導体制】

- ・マンツーマン指導（外科）

《脳神経外科》

【研修症例】

- ・一般脳神経外科（脳卒中を含む）の診療

【指導体制】

- ・マンツーマン指導（指導医の下0p含）

■ 病院の概要

■ 病院長	千代反田 晋
■ 所在地	日向市大字日知屋字吉田町 88 番地
■ TEL	0982-52-7111
■ 研修実施責任者	千代反田 晋
■ 病床数	196 床
■ 年間入院患者実数	2,426
■ 一日平均外来患者数	306
■ 救急取扱患者数	2,876



(平成 28 年度実績)

■ 研修受入診療科

内科、外科、整形外科、泌尿器科

■ 研修施設の特徴

救急指定病院・災害拠点病院・協力臨床研修指定病院として、地域医療に貢献しています。

■ 研修症例および指導体制の特徴

当院は日向入郷地区の 2 次救急病院として、365 日 24 時間救急医療を提供しています。一方 16 の診療科では、それぞれの専門医が 1 日平均 306 名の外来患者と年間 2000 名を超す入院患者に対応しています。

研修医の皆様には、診断のついていないアプローチから退院までの全ての過程を経験して頂きます。また選択された診療科の指導医だけではなく、全ての診療科の指導医が横断的にサポート致します。

■ 病院の概要

■ 病院長	和田 徹也
■ 所在地	日向市向江町 1-196-1
■ TEL	0982-52-0011
■ 研修実施責任者	和田 徹也
■ 病床数	174 床
■ 年間入院患者実数	1,123
■ 一日平均外来患者数	139
■ 救急取扱患者数	796



(平成 28 年度実績)

■ 研修受入診療科

脳神経外科

研修施設の特徴

日向入郷地区の二次救急を担う地域の災害拠点病院。
脳神経外科を中心に、地域医療に貢献している。
救急自動車車載カメラ映像伝送のモニター協力病院になっています。

研修症例および指導体制の特徴

《脳神経外科》

【研修症例】

日向入郷地区の脳卒中症例。
入院から在宅までの緩和ケア症例。

【指導体制】

受入診療科のみならず、地域医療の幅広い分野を体験することができる。

指導医・先輩医師からのメッセージ

脳血管疾患症例では、急性期から回復期リハを経由した在宅まで一貫した医療を経験できます。

■病院の概要

■病院長	二宮 嘉正
■所在地	日向市大字財光寺 1194 番地 3
■TEL	0982-54-2806
■研修実施責任者	二宮 嘉正
■病床数	307 床
■年間入院患者実数	549
■一日平均外来患者数	84.12
■救急取扱患者数	-

(平成 28 年度実績)



■研修受入診療科

精神科

研修施設の特徴

昭和 34 年に開院。当時より「外壁の無い精神科病院」として地域に密着した精神科単科の病院です。現在、周辺施設として認知症疾患医療センター（県内 3 病院のみ指定）・精神科デイケア・重度認知症デイケア・老人保健施設・地域包括支援センター・

援護寮等を有しております。また、身体合併症病棟もあり終末期医療も行っており、精神科を中心とした全人的医療を職員一丸となって目指している病院です。

研修症例の特徴

軽度認知機能障害～重度認知症、各種認知症の鑑別診断を含め精神科全般に渡り経験できます。併設の老人保健施設においては、医療と違った介護現場を経験する事により、今後先生方が直面さ

れる医療と介護の違いに関しても経験できます。また、身体合併症病棟においては血管エコーと X 線透視下にて中心静脈カテーテル留置を行っており、その介助も希望すれば可能です。

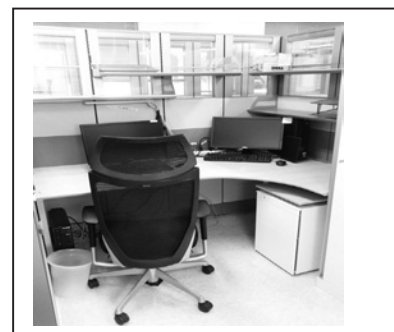
研修指導医および指導体制の特徴

常勤 9 名（女性 1 名）は精神科医師 8 名、内科医師 1 名で、精神保健指定医は勿論の事、常勤 6 名は精神科専門医や認知症専門医を有しております。平成 27 年 4 月、精神科専門医研修施設の指定を受け、常勤 2 名は専門医を目指しております。希望すれば、そのカンファレンスにも参加可能で、精神科を

志す先生にとって今後役に立つ事と思います。精神科以外を希望される先生には、今後通常の診療遭遇するであろう軽度認知障害や軽症うつ病に気が付き精神科に繋げて頂けるよう指導していきたいと思っています。

指導医・先輩医師からのメッセージ

個室はありませんが、診療部内は個室タイプブースで仕切られております。ほのぼのとした雰囲気診療部です。精神科に進む・進まないに関係無く優しく丁寧に教えていきますので、気軽に来て下さい。



独立行政法人国立病院機構 宮崎病院

■ 病院の概要

■ 病院長	江崎 公明
■ 所在地	児湯郡川南町大字川南 19403-4
■ TEL	0983-27-1036
■ 研修実施責任者	安藤 徹
■ 病床数	199 床
■ 年間入院患者実数	946
■ 一日平均外来患者数	59.6
■ 救急取扱患者数	355



(平成 28 年度実績)

■ 研修受入診療科

整形外科、小児科

研修施設の特徴

本院の所在する川南町(人口約 1 万 7 千人)は、宮崎市と延岡市の中間にあり、東には日向灘、北西には尾鈴山を配し、気温は温暖で自然環境に恵まれた地である。

医療圏としては川南町や高鍋町を中心とした西都児湯医療圏(人口約 11 万人)に属している。

本院は、政策医療として重症心身障害児(者)に対する入院療育を行うと共に、地域で生活を送りながら発達相談やリハビリなど総合的に援助

する通所事業も行っている。

一般医療については、内科、小児科、整形外科などで専門性を活かした医療を行う一方、二次救急医療施設として 24 時間体制で救急医療を行っている。

また、開放型病院として、地域医療機関との病診(病)連携を強化しながら、地域ニーズに対応できる体制作りに努めている。

研修症例および指導体制の特徴

《整形外科》

【研修症例】

一般外傷・骨折を中心とした手術、形成外科的手術その他、人工関節、拘攣性神経障害などの慢性疾患に対し年間 370 例の手術症例を有する。

また、脊椎疾患、関節疾患のリハビリテーショ

ンも行っている。

腰椎椎間板ヘルニア、頸椎症などの慢性疾患に対してはリハビリテーションや神経ブロックによる疼痛コントロールを行っている。

【指導体制】

整形外科医師 2 名体制で直接指導のもと、外来診療や手術などを通じて、幅広く整形外科疾患の

診断・治療に関する知識、手術手技を習得し、実践できるようになることを目標としている。

《小児科》

【研修症例】

血液検査、CT 検査、MRI 検査などによる小児神経疾患の診断・治療を行っている。

特に遺伝性疾患、染色体異常、てんかん、脳性麻痺などの診断と治療に力を入れている。

また、精神運動発達遅滞などの発達障害に対す

る相談の実施や、小児発達に対する理学療法（リハビリテーション）を行っている。

ショートステイ、通所事業にも積極的に取り組んでいる。

【指導体制】

てんかん・脳性麻痺などの神経疾患をもつ患者を主に診療を行っている。

その他に近隣の患者の発熱、咳、下痢などのブ

ライマリーケアを行っていると共に、重度の基礎疾患のある患者の急性増悪にも対応しており、有意義な研修が出来ると考える。

■病院の概要

■病院長	米澤 勤
■所在地	児湯郡高鍋町大字上江 207 番地
■TEL	0983-23-1111
■研修実施責任者	米澤 勤
■病床数	199 床
■年間入院患者実数	50,235
■一日平均外来患者数	163
■救急取扱患者数	1,378

(平成 28 年度実績)



■研修受入診療科

外科、整形外科、救急、形成外科

■研修施設の特徴

平成 14 年 7 月に高鍋町に総合病院として新築移転した施設です。常勤医師は現在 10 名（呼吸器内科:1 名 循環器内科:1 名 小児科:2 名 整形外科:1 名 形成外科:1 名 外科:4 名）で、大学の複数の医局からの非常勤医師の協力を得て総合病院としての機能維持に努力しています。

画像診断設備や院内での血液・生理検査体制も充実させています。画像診断に関しては 2 名の放

射線科専門医に遠隔診断を委託し、緊急の読影にも対応可能です。政府の策定した地域医療構想の中で、西都児湯 2 次医療圏における中核的病院と、災害拠点病院の機能が果たせる様内容強化を計っており、平成 26 年 4 月には病院敷地内にヘリポートが完成しました。今後は、来年度から始まる専門医制度にも対応しつつ、地域医療の向上維持に努めて行きます。

■研修症例の特徴

救急は西都・児湯医療圏の数少ない救急告示病院として昼夜を問わず可能な限りの急患の受け入れを行っています。また、大学の救急部とも密に連絡を取り合い、逆搬送システムによる患者の受け入れも積極的に取り組んでいます。外科は消化器疾患を中心に末梢血管外科やペースメーカーの移植術、透析症例のブラッドアクセスに関す

る手術を行っています。協力病院との連携で呼吸器などの手術や癌化学療法・緩和療法にも取り組んでいます。整形外科は骨接合や人工骨頭、人工関節の手術をはじめ、関節鏡手術も行っています。形成外科は外傷、熱傷、眼瞼下垂や褥瘡、軟部組織腫瘍摘出などを行っています。

■研修指導医および指導体制の特徴

4 名の指導医を中心に全医師（常勤・非常勤）による指導を行います。救急や手術の基本的技手をはじめ、外来・病棟での診察および処置の指導を行うとともに積極的に実践していただきます。

院内にワンルームの宿舎を準備しますので夜間の診療経験も無理なく行えます。

平成 28 年度からは新しく形成外科（県内では 4 ヶ所のみ）も研修出来る様になりました。

■指導医・先輩医師からのメッセージ

平成 26 年度から協力型臨床研修病院に加えていただき、現在まで 13 名の研修医を迎え、当院にも新しい空気が流れ始めました。宮崎市内から遠くも近くもない場所ですが、自然に恵まれ、きれいな日向灘や小丸川が望め、釣りやサーフィンも出来ます（指導も可）。食事会（飲み会）も積極的に開催しております。

小さな医局で他の医師やスタッフとのコミュニケーションも取りやすい環境です。研修医の皆さんと一緒に勉強できることを楽しみにしております。



■病院の概要

■病院長	冷牟田 浩司
■所在地	都城市祝吉町 5033-1
■TEL	0986-23-4111
■研修実施責任者	冷牟田 浩司
■病床数	307 床
■年間入院患者実数	83,247 名
■一日平均外来患者数	358 名
■救急取扱患者数	3058 名



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

外科・小児科・産婦人科・整形外科・内科・循環器内科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・呼吸器外科

■研修施設の特徴

当院は、宮崎県南西部から鹿児島県北東部に至る約 30 万人の医療圏を担っています。地域の医療機関との連携を重視し、開放型病院として地域の先生方と共に診療体制をとっており、地域医療支援病院の指定も受けました。政策医療としては地域がん診療連携拠点病院として、総合的ながんの診断、治療、研修を行っています。さらに、母

子救急医療（緊急分娩・未熟児・新生児医療）に対応して県より地域周産期母子医療センターに認定されています。

また、平成 27 年 11 月には外来診療棟が、平成 28 年 8 月にはサービス棟を含む全ての設備工事が終了し、更なる医療設備・環境の充実を図っています。

■研修症例および指導体制の特徴

【研修症例】H28 年度実績

1 日平均入院患者数	228.1 名	手術件数	2,103 件
新入院患者数	6,263 名	分娩件数	452 件

【指導体制】

指導医 13 名体制（外科、小児科、産婦人科、整形外科、循環器内科、泌尿器科）

■指導医・先輩医師からのメッセージ

多くの症例を経験し、より高度の医療内容に自ら積極的に習得していただきたいと思います。そのため の到達目標や数値目標も掲げていきます。そして最終目標には各診療科における認定医、専門医を習得す べく、その目標に向かって努力していただきたいと願っております。指導医はそれぞれの診療領域におけ る専門医や指導医であり、皆さんの要望にきっと応えてくれるはずです。

なお、がんの研修を中心に勉強できますが、地域医療としての研修も 可能です。病棟スタッフはほとんどが若手にシフトしており、和気あい あいの雰囲気ですので、楽しく研修できるかと思います。

(臨床研修センター長 後藤 又朗)



都城市郡医師会病院

■ 病院の概要

■ 病院長	重平 正文
■ 所在地	都城市太郎坊町 1364 番地 1
■ TEL	0986-36-8300
■ 研修実施責任者	中津留 邦展
■ 病床数	224 床（感染症病床 4 床含む）
■ 年間入院患者実数	4,838
■ 一日平均外来患者数	65.3
■ 救急取扱患者数	3,694

（平成 28 年度実績）



■ 研修受入診療科

内科・外科・救急科

研修施設の特徴

都城 IC 近くへ移転し、北西に霧島連山を眺望できる風光明媚な場所にあります。

当院は夜間急病センターを含め年間約 3,000 台の救急搬送があります。

手術室 4 室、集中治療室 6 床（HCU12 床）、心臓カテーテル検査室、血管造影室、CT、MRI、人工呼吸器 23 台（NPPV5 台）、CHDF3 台、透析器 1 台、IABP2 台、PCPS1 台、エコー 4 台等あり、24 時間

365 日多岐にわたる救急患者に対応しています。

また災害拠点病院でもあり、DMAT3 チーム、ドクターカー 1 台を所有しています。

移転地は、都城北諸県の人口中心点付近の為、広域的な救急医療に対応でき、都城 IC、ヘリポートの利用により、重篤患者については、宮崎大学へ短時間で転送可能となっています。

研修症例および指導体制の特徴

【研修症例】

発熱、腹痛、意識障害などの鑑別診断を要する 1 次救急から、院外心肺停止症例、急性冠症候群、心不全を中心とした内科、循環器疾患、脳血管障害、消化管出血、閉塞性黄疸等の消化器疾患、誤

嚥性肺炎、人工呼吸器管理を要する呼吸不全、透析を必要とする急性腎臓病、敗血症、多発外傷や重度熱傷等の集中治療を要する疾患まで、研修できる機会があります。

【指導体制】

内科・循環器内科救急、消化器外科救急、救急科救急のコースを選択後に、各コースでの指導体制に基づいた研修を行います。幅広く症例を経験

できるように、夜間及び土日祭日のオンコールがあります。

【各コースの特色】

内科・循環器内科救急では、肺炎、腎不全、心不全等一般内科疾患から、狭心症、急性心筋梗塞、重症心不全の人工呼吸器、透析、体外循環管理まで、内科系及び循環器内科系の疾患を主治医として担当します。

消化器外科救急では、急性腹症の鑑別や、消化管出血や腫瘍性病変の内視鏡治療、腹腔鏡手術、開腹手術等、消化器内科・外科系疾患を幅広く担

当します。

救急科では、都城消防局医師要請基準に準じて、救急隊対応困難な院外救急現場へ、ドクターカーに乗り出動します。交通外傷や災害救急外傷、院外急変や心肺停止に対応して、対応科への引き継ぎ、ドクターヘリへの連携、救急疾患患者の入院治療を担当します。

医療法人宏仁会 メディカルシティ東部病院

■病院の概要

■病院長	東 秀史
■所在地	都城市立野町 3633-1
■TEL	0986-22-2240
■研修実施責任者	瀬口 浩司
■病床数	143 床
■年間入院患者実数	1,131
■一日平均外来患者数	119.0
■救急取扱患者数	698



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

外科

研修施設の特徴

平成 22 年 4 月に屋上ヘリポート(救急搬送用)を備えた 4 階建て病棟が新たに稼働し、ヘリによる救急搬送・搬入を行っています。1 階は外来、外傷救急センター、画像診断センター(64 列 MD-CT、3 テスラ MRI)、透析センター、2 階は癌

化学療法センター、手術ゾーン(手術室 2 室、血管造影室)、3 階は ICU(6 床)、HCU、一般病棟、4 階は医局、研修ホール、当直室を含む管理ゾーンです。

研修症例および指導体制の特徴

《外科》

【研修症例】

外科は消化器癌の手術を中心に行っており、特に肝癌治療(肝切除術、TACE)に力を入れています。平成 28 年度の手術件数は計 245 例(全麻 105 例、腰麻 18 例、局麻 123 例、うち緊急手術は 14 例)でした。

【指導体制】

2 名の指導医(外科、循環器内科)を中心に、全医師による指導を行います。麻酔科専門医も症例

また、他科との連携が良いため、麻酔科、循環器系・呼吸器系疾患、ICU 管理、消化器内視鏡検査及び処置、各種画像診断、ERCP や PTBD、癌化学療法及び緩和療法などの症例も幅広く経験することができます。

により指導を行います。

メディカルシティ東部病院での研修を終えて（H28 年 2 月～H28 年 3 月）

宮崎大学医学部付属病院 研修医 新屋 琴子

研修医 1 年目の最後の研修をメディカルシティ東部病院で行えてよかったと思います。東院長との朝の回診、血液検査データや夜勤帯の状態をチェックしながらのディスカッションは大変貴重な経験でした。東院長の豊富な経験、知識、技術から、教科書だけでは知り得ないことをたくさん学ばせていただき、毎日目から鱗の落ちる思いで、大学病院だけでは得られなかった視点を得られました。2 ヶ月目になり研修医一人で不安でしたが、外来患者の入院や急患対応をさせていただくことが増え、入院前検査から手術などの加療、退院までの一連の流れに関わり、診断の過程、入院加療、退院後のフォローアップまで経験できたことは今後の自分の糧になると思います。医学だけでなく、都城のおいしい食事、歴史、宮崎の医療・医師事情などなど... たくさんのことを教えていただきました。面白くて楽しいお話をしながら、のびのびと研修をさせていただき本当に感謝しています。

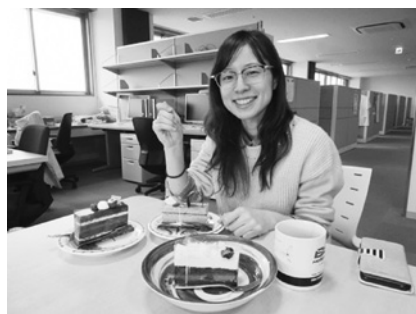
グルメな瀬口先生に都城のおいしいご飯屋さん、ケーキ屋さんに連れて行っていただいたり教えていただいたりして、充実した食生活を送りながら研修ができました。まったく知らない土地での研修だった私にとってとてもありがたかったです。毎日の朝のレクチャーでは、外科的知識だけではなく、今まで勉強したくてもできなかった

基礎の部分勉強することができました。今後は自分に甘えず、少しの空き時間をみつけて継続していきたいと思います。術前の麻酔では、なかなかうまく挿管できず、毎回緊張していましたが、小金丸先生が根気強く教えてくださり本当に感謝しています。術前の丁寧な問診、身体診察、それを踏まえたうえでの患者さんへの細やかな気配りは大変勉強になり、私の目標とする医師像でした。今後、少しでも近づけるように精進したいと思います。

今回外科研修でまわらせていただきましたが、整形外科をはじめ、麻酔科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、緩和ケアなどたくさんの分野の先生から直接指導を受けることができ、大変勉強になりました。また、医局・外来などで声をかけてくださり、毎日とても楽しく過ごすことができました。

何科になるかまだ決めていませんが、メディカルシティ東部病院での研修を今後の糧にしたいと思います。2 ヶ月間本当にありがとうございました。ごちそうさまでした！笑！

P. S. 研修医が過ごしやすいういつも気を遣ってください、いつも楽しくお話ししてくださった中村さん！本当に本当にありがとうございました！



■病院の概要

■病院長	木原 浩一
■所在地	都城市早鈴町 17-1
■TEL	0986-22-1717
■研修実施責任者	木原 浩一
■病床数	343 床
■年間入院患者実数	3,981
■一日平均外来患者数	423.5
■救急取扱患者数	2,114



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

循環器科、内科、外科、脳神経外科、リハビリテーション科

研修施設の特徴

各種学会専門医研修（修練）施設

研修症例および指導体制の特徴

《循環器内科》

【研修症例】

救急搬入から CV ルート確保等の救急処置、検査・診断・治療からリハビリテーションまでの一貫体制での研修が可能

【指導体制】 循環器科医師 4 名・心臓血管外科 2 名

《脳神経外科》

【研修症例】

救急搬入から救急処置、検査・診断・治療及び手術からリハビリテーションまでの一貫体制での研修が可能

【指導体制】 脳神経外科 5 名・リハビリテーション科 2 名

■ 病院の概要

■ 病院長	竹内 康三
■ 所在地	都城市早鈴町 17-4
■ TEL	0986-25-1315
■ 研修実施責任者	竹内 康三
■ 病床数	414 床
■ 年間入院患者実数	229
■ 一日平均外来患者数	74
■ 救急取扱患者数	-



(平成 28 年度実績)

■ 研修受入診療科

精神科

研修施設の特徴

当院は、都城市内の中央部に立地し近隣の市町村は元より一部鹿児島圏域を含む広域の方々を対象に精神科医療を提供しております。

急性期から慢性期、思春期から高齢者層と幅広い疾患・年齢層の方々に対して作業療法・NST・

精神療法等の治療プログラムを実施しております。

地域移行支援に取り組んでおり、外来作業療法、精神科デイケア・訪問看護などを実施し、退院後に円滑な生活が送れる体制を整えております。

研修症例および指導体制の特徴

《精神科》

【研修症例】

県内外から多数の患者様が受診されます。軽症のうつ病など感情障害から不登校、適応障害、統合失調症、神経症、認知症など、疾患・年齢層と

もに幅広い症例がありますので、研修時の希望に添って、外来・病棟での担当症例を検討する事ができます。

【指導体制】

指導医によるマンツーマン体制で、精神疾患に対する適切な対応を習得できるような環境が整備されており、研修期間中に面接、検査、診断、治療の基本的療方を理解し身につけ、薬物療法に

ついても理解できるようにしていきます。

また同敷地内にある藤元総合病院と連携し、身体合併症を持った精神障害者の治療についても学ぶ事ができます。

指導医・先輩医師からのメッセージ

幅広い症例を元に精神疾患への理解、適切な対応が習得できるよう研修指導を行っております。

また研修期間中は、指導医だけでなく薬剤師、臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士などの他職種もそれぞれ専門の立場から研修をサポート

しております。

外部機関との連携も含め、精神科の地域医療・福祉施設について見学できる環境にありますので、ぜひ研修にお越し下さい。

医療法人魁成会 宮永病院

■ 病院の概要

■ 病院長	夏田 康則
■ 所在地	都城市松元町 15 街区 10 号
■ TEL	0986-22-2015
■ 研修実施責任者	島 雅保
■ 病床数	88 床
■ 年間入院患者実数	1,102
■ 一日平均外来患者数	175
■ 救急取扱患者数	120



(平成 28 年度実績)

■ 研修受入診療科

内科、外科

研修施設の特徴

当院は、病床数 88 床(内、回復期リハ病床 35 床)で、外科、内科、リハビリテーション科を診療の柱とする一般病院です。外科では、主に消化器疾患の検査、治療を行っており、内視鏡検査治療に力を入れています。内科は、糖尿病、呼吸器、肝臓病、総合診療などの常勤医と、その他にも大学からの協力を頂きながら、

消化器、膠原病、など幅広い疾患に対応しています。特に糖尿病患者数が多く、平成 29 年春外来に糖尿病センターを増設稼働させて、各職種とのチーム医療で治療に当たっています。また、リハビリテーションには、多くの療法士が、脳血管疾患や術後を中心とした機能回復訓練に当たっています。

研修症例の特徴

外来患者は、1 日平均で 170 名ほど、新患が 15~20 人名/日程度。救急者受入数が 120 人/年程度。内視鏡検査は GS 1800 件 CS 900 件 ERCP 20 件/年程度。H28 年度全身麻酔下手術

84 件(消化器癌、胆石症など)、脊椎麻酔下手術 39 件(ヘルニア、痔疾患など)などがあります。経験すべき疾患病態の多くを日常的に経験できます。

研修指導医および指導体制の特徴

常勤医師 8 名のうち、外科 3 名、内科 2 名の指導医が在籍しており、外科医が中心となって指導に当たります。

指導医・先輩医師からのメッセージ

当院では主に、外科医とともに消化器疾患を中心に診て頂きます。消化器・腹部疾患に関しては、外科で初診から 検査 診断 治療(手術に限らず内視鏡治療 化学療法なども)経過観察 付随する他科的疾患 終末期治療など一貫して診ているので、これらを一緒に経験して頂けます。内科疾患では、糖尿病患者が多く、糖尿病指導医専門医から

最新の糖尿病治療につき深く学ぶことが出来ます。呼吸器疾患、肝臓疾患、総合診療など常勤医に、消化器内科疾患、感染症膠原病、循環器疾患などは非常勤医に、専門分野の意見を聞くことが可能です。当院での経験が若い先生方の成長の一助になれば幸いです。

(外科部長 島雅保)

医療法人けんゆう会 園田病院

■病院の概要

■病院長	丸山 賢幸
■所在地	小林市堤 3005-1
■TEL	0984-22-2221
■研修実施責任者	丸山 賢幸
■病床数	60 床
■年間入院患者実数	1,060
■一日平均外来患者数	169
■救急取扱患者数	462



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

外科、救急部門

研修施設の特徴

診療科目：外科・内科・脳神経外科・循環器内科・呼吸器内科・放射線科・リハビリテーション科・皮膚科／介護老人保健施設（さわやかセンター）／園田訪問看護ステーション 併設

宮崎大学のご協力のもと、予防医療から救急医療、高齢者医療に至るまで、ニーズに合わせて医療介護を展開し、高い評価を頂いております。尚、平成 29 年 8 月に「園田訪問看護ステーション」を設立、ならびに送迎支援を開始致しました。今後とも、より一層充実した医療機関を目指してまいります。

研修症例および指導体制の特徴

【研修症例】

基本的な外科的処置や救急措置（一時救命処置・二次救命処置など）をはじめ、消化器外科・脳外科の全症例の手術への参加や消化器内視鏡検査、腹部超音波検査（心臓含む）も研修可能となります。内科救急は、循環器・呼吸器疾患を中

心に慢性期・急性期を問わず、診断から治療まで一貫して診療経験を積むことが出来ます。また、放射線科による読影、CT・MRI の画像診断研修も行っております。

【指導体制】

担当症例ごとに常勤医師 3 名で指導を行っております。循環器・呼吸器疾患などの専門症例については、宮崎大学からの派遣医師にも指導して頂き

ます。他職種も含め、病院全体で研修をサポートしていきます。

■ 病院の概要

■ 病院長
■ 所在地
■ TEL
■ 研修実施責任者
■ 病床数
■ 年間入院患者実数
■ 一日平均外来患者数
■ 救急取扱患者数

内村 大介
小林市水流迫 852 番地 1
0984-23-2575
内村 大介
261 床
437
70.4
—

(平成 28 年度実績)



■ 研修受入診療科

精神科

■ 研修施設の特徴

当院は霧島連山の麓の他県と比較的便利に連絡できる南九州の中央部に位置し、宮崎市、小林市、えびの市、西諸県郡、北西諸県郡、都城市、人吉市（熊本県）、湧水町（鹿児島県）等の広域に在住する患者様に対して精神科医療を提供しています。若いスタッフも多く、行動面でも思考面でも動きのある、生き生きとした医療を提供することを心がけています。また、宮崎県下の精神科病院でも草分け的な存在でその普及にも努め

ている社会生活技能訓練（CP2 名）エネルギーな作業療法（OT7 名）、精神科デイケア・ショートケア、グループホーム及び訪問看護による広域な地域をしっかりとカバーすることによる退院後のフォローアップ、地域と病院を結ぶ PSW（9 名）のフル活動、看護部による愛情豊かな手厚い看護、情熱的で真剣に患者様と向き合う精神科医師達などの医療体制で地域精神保健のよりいっそうの充実を図っております。

■ 研修症例および指導体制の特徴

《精神科》

【研修症例】

最近では気分障害関連と認知症関連の症例が多くなりつつありますが、様々な疾患を有する思春期から老年期までの幅広い年齢層の症例が経験できます。

【指導体制】

常勤精神科医師 8 名（全員経験年数 15 年以上で精神保健指定医 5 名）が在籍しております。また日本精神神経学会の研修施設になっており、専門医制指導医、指導責任者、専門医、及び日本精

また、各種施設、他科病院、他科診療所との連携も密なためリエゾン精神医学的な研修や発達障害関連児童の研修も経験することができます。

精神科病院協会認定指導医のもと充実した指導体制が整備されています。

小林市立病院

■ 病院の概要

■ 病院長	徳田 浩喜
■ 所在地	小林市細野 2235 番地 3
■ TEL	0984-23-4711
■ 研修実施責任者	坪内 斉志
■ 病床数	147 床
■ 年間入院患者実数	31,891
■ 一日平均外来患者数	122
■ 救急取扱患者数	2,475

(平成 28 年度実績)



■ 研修受入診療科

1 年次（外科、麻酔科、救急科） 2 年次（外科、麻酔科、救急科、整形外科、泌尿器科）

研修施設の特徴

平成 21 年 9 月に新病院舎が完成しました。当院は感染病床 4 床を含む 147 床の西諸医療圏における中核病院で、医師不足に対して医療の質を確保するため当地医師会と連携してそれぞれ役割を分担し、「地域医療支援病院」として入院医療と二次救急を主務としています。現在、日本

外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医制度認定修練施設（関連施設）、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本整形外科学会研修施設、日本泌尿器科学専門医教育施設（基幹教育施設）の認定を受けています。

研修症例および指導体制の特徴

＜外科＞

入院患者数は平均 56.20 人で、消化器疾患のみならず種々の悪性疾患に対する化学療法や緩和医療も担当しています。手術は、消化器悪性疾患を中心に肺癌や乳癌等多岐にわたり、緊急手術も多く鏡視下手術にも積極的に取り組んでいます。昨年度の全麻症例は 211 件で、その他腰椎麻酔および硬膜外麻酔症例、鏡視下胃ろう造設、気管切開等が 42 件で、虫垂炎やヘルニア等初めて術者を経験でき

る症例も豊富です。外来は予約制で紹介率は 63.0%です。平成 28 年度の胃内視鏡は 562 件、大腸内視鏡 361 件、超音波検査 1944 件、PTCD9 件、気管支鏡 14 件、外来化学療法 339 件でした。

研修は、1 名の日本外科学会指導医を中心に 3 名の外科スタッフが担当します。

＜麻酔科＞

昨年度の全麻症例は、外科 211 件、整形外科 144 件および泌尿器科 92 件、計 447 件で、腰椎麻酔、硬膜外麻酔症例は 47 件でした。病棟では、重症患者の全身管理や悪性疾患患者の緩和医療等を主治医と協力して担

当します。

研修は、日本麻酔科学会指導医のマンツーマン指導です。

＜救急科＞

H28 年度の救急搬送件数は紹介含め 741 件で、内訳は初期二次が 536 件、重傷三次が 164 件、CPA が 29 件、分類不明が 12 件でした。当院で対応困難な重症患者は、主に宮崎大学救命センター含め高次医療機関へ転院搬送となります。しかしながら重症患者のうち高齢であったり、家

族の希望等がある場合は、当院で対応する重症患者も少なくありません。人工透析、人工呼吸器等を使用した集中治療や、地域の救急医療に希望がありましたら是非一度見学に来てください。

指導医・先輩医師からのメッセージ

医局全員と一緒に診療しています。1 年次研修及び 2 年次研修においても経験豊富な指導医のもと、診療技術のスキルアップのみならず、医師としての資質向上をも目指し

た研修を体感できる、地域に密着した西諸医療圏の基幹病院です。

研修協力施設

五ヶ瀬町国民健康保険病院

■ 病院の概要

■ 病院長	崔 林承
■ 所在地	西臼杵郡五ヶ瀬町大字三ヶ所 2109-1
■ TEL	0982-73-5500
■ 研修実施責任者	崔 林承
■ 病床数	54 床
■ 年間入院患者実数	483
■ 一日平均外来患者数	91.3

(平成 28 年度実績)



■ 研修受入診療科

地域医療

研修施設の特徴

当院は、昭和 39 年 5 月に一般 10 床、伝染 10 床、合計 20 床の町立国保病院として開設しました。その後、増床を行いながら平成 10 年 11 月に現在地に移転改築し、現在一般 36 床、介護 18 床、合計 54 床の入院施設と、一日平均外来患者 91 名

の外来診療を内科、外科、整形外科、消化器外科等 7 科を標榜し、医療・診療活動を実施しています。また、附属診療所、へき地診療所を併設、訪問診療等多くの院外活動を行っています。

研修症例の特徴

当院は、県北や山間部の小さな町の小さな病院で、町内唯一の医療機関として疾患だけでなく、住民、学校、職場健診、予防接種など町民の健康維持のため活動しています。高齢者の一人、二人

暮らしの人を医療難民にしないなど、過疎地の医療実態を肌で感じてもらいたいと思います。急患や慢性疾患への対応、消化管内視鏡、エコー、CT、麻酔、手術もあります。

研修指導医および指導体制の特徴

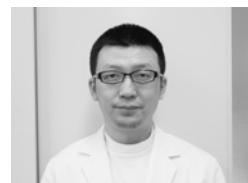
午前中は、外来診療を指導医のもとで行い、午後は、診療所や公衆衛生活動として学校健診や訪問診療等院外業務にも従事してもらいます。指導医である院長外には、内科医 1 名の計 2 名（平成 29 年 4 月）で研修医へのバックアッ

プを行います。重症患者や救急患者に対して、専門病院への転送が必要か否かを一緒に考え、転送の必要があるときは、救急車に同乗し搬送を行います。

指導医・先輩医師からのメッセージ

小規模の病院で、限られた医療資源を最大限に活用しながら診療を行っています。主に、高齢者に対する包括医療提供の中心を担うことが最も重要な役割となっています。

大自然に抱かれた、医療の「最前線」にその身をさらしながら、「肌」で学んでほしいと思います。



高千穂町国民健康保険病院

■病院の概要

■病院長

久米 修一

■所在地

西臼杵郡高千穂町三田井 435-1

■TEL

0982-73-1700

■研修実施責任者

久米 修一・押方 慎弥・甲斐 智朗

■病床数

120 床 (一般病床 60 床・療養病床 60 床)

■年間入院患者実数

1,308

■一日平均外来患者数

396

(平成 28 年度実績)



■研修受入診療科

地域医療

■研修施設の特徴

当院は、内科、外科、整形外科、泌尿器科、眼科、小児科、循環器科、耳鼻咽喉科、皮膚科、リハビリテーション科を標榜しており、西臼杵 3 町の中核病院として多くの患者様を受け入れています(平成 28 年度外来患者数 96,628 人)。

また、各種健診、訪問診療、急性期疾患及び慢

性期疾患の管理など幅広く地域医療に貢献していますので、多くの医療現場を経験することが出来ます。

平成 19 年 4 月 1 日から指定自立支援医療機関(人工透析及び精神通院医療)の指定も受けており、68 名の血液透析も行っています。

■研修症例の特徴

症例は、生活習慣病が大半を占めていますが、高齢化率が高く、高齢者の脳血管障害、心疾患、呼吸器疾患も多く存在します。

午前中は外来診療が主になりますので研修医の先生方には症例を選んで新患外来を担当して

いただき、必要に応じて入院まで指導医とともに担当していただきます。

また、往診や乳幼児健診、訪問看護なども経験していただき、地域住民との交流も深めてもらいたいと思います。

■研修指導医および指導体制の特徴

研修指導医は、内科医 1 名・外科医 1 名・耳鼻咽喉科医 1 名です。

内科医は自治医科大学卒業の総合医で外科医とともに専門分野は消化器ですが、それ以外の疾患についても画像診断や治療方針に関して少人数ならではのディスカッション、症例検討

を行いますので積極的に討議に参加していただきたいと思います。

また、研修医が希望すれば整形外科、小児科とも連携し内科・外科・耳鼻咽喉科以外の診療科も積極的に研修の支援を行います。

■指導医・先輩医師からのメッセージ

Dr へり、高規格救急車による搬送も月に数回ほどあり、高規格救急車に同乗可能です。



美郷町国民健康保険西郷病院

■ 病院の概要

■ 病院長	東 善昌
■ 所在地	東臼杵郡美郷町西郷区田代 29 番地
■ TEL	0982-66-3141
■ 研修実施責任者	総院長 金丸 吉昌
■ 病床数	29 床
■ 年間入院患者実数	580
■ 一日平均外来患者数	85.6

(平成 28 年度実績)



■ 研修受入診療科

地域医療

研修施設の特徴

自然と歴史あふれる中山間地域で、将来の家庭医（総合医）としての活躍の基本が学べる。ベッド数 29 床の小さな病院だが、町内唯一の病院。

内科、整形外科、放射線科、リハビリテーション科があり、人工血液透析も行っている。また、県内に数少ない屋上ヘリポートを整備している病院。ドクターヘリの運行にも対応可能となっている。医師、看護スタッフの連携も良く、また、地域の中で多くの住民の皆様にかかりつけ医療

機関として利用していただいている。

現在、臨床研修医師（宮崎大学医学部附属病院・県立宮崎病院）、クリニカルクラークシップ（宮崎大学医学部）、公衆衛生学実習（宮崎大学医学部）、地域医療実習（自治医科大）、へき地医療ガイダンス（宮崎県）、ふれあい看護体験（県看護協会）など、毎年 25 名程度のへき地（地域）医療研修を受け入れている。

研修症例の特徴

院内での外来・入院及び人工血液透析研修等のほか、在宅診療研修、福祉施設（デイサービスセンター、老人ホーム、特養等）での研修、各種カンファレンス参加（地域ケア会議等）、保健行政の研修など医療だけでなく、保健、医療、福祉の統合した地域包括医療を経験できる。

町内で唯一の病院であることから、町内特に西

郷・北郷地区の救急車は殆ど当院に集中する状況にある。従って研修 1 年目で習得した技量を存分に発揮していただけるような救急の研修の場にもなると考えている。研修の結果として総合診療医（家庭医）としてのイメージが出来るようになる。ある意味、医療の原風景を体感する事にも繋がっていると考えている。

研修指導医および指導体制の特徴

研修指導者の指導だけでなく、病院の各職種、各スタッフ、さらには関連施設職員、地域住民すべてで研修医の応援を担当する。まさに、地域医療の醍醐味を体で味わってもらえるようにプログラムを作っている。例えば、手打ちそばを食べながら、時には地元の特産品を食べながら、夜の地域医療談義も実施している。

これまで、平成 17 年からたくさんの医師、医学生に研修していただき、それぞれに楽しみ、喜んでいただいている。繰り返しになるが、この研修を研修医の皆さんに楽しんで味わっていただけるように、また、地域との“絆”を実感してもらえようスタッフ一同、目指している。

指導医・先輩医師からのメッセージ

これまでの地域住民との交流の場としてのそば交流を平成 23 年 6 月からは、改めて“みさと地域医療塾”として開講し、異業種交流等を充実し実践しています。多くの塾生の登録を楽しみにしています。



宮崎県立こども療育センター

■病院の概要

■病院長	川野 彰裕
■所在地	宮崎市清武町木原 4257-8
■TEL	0985-85-6500
■研修実施責任者	川野 彰裕
■病床数	65 床
■年間入院患者実数	100
■一日平均外来患者数	43.8

(平成 28 年度実績)



■研修受入診療科

地域医療

研修施設の特徴

昭和 34 年に設立された宮崎県に唯一の障害児療育拠点施設であり小児整形外科病院でもあります。

福祉ゾーンの一角にあり、特別支援学校が隣接

しています。

障がいを持つ児童、家族が安心してその地域で生活できるよう様々なスタッフが関わっています。

研修症例の特徴

脳性麻痺を中心とした神経・筋疾患をはじめ、骨系統疾患、先天性股関節脱臼、内反足などの小児

整形外科疾患となります。

研修指導医および指導体制の特徴

上記症例に対するチームアプローチを行っており、実際のリハビリテーションの見学、実習を行います。

全県域に対して巡回相談を行っています。療育

センタースタッフが定期的に県内各地の保健所、児童相談所、特別支援学校などを訪問し、日常生活のアドバイスをします。

指導医・先輩医師からのメッセージ

療育センターでの治療は医師間だけでなく、他職種（看護師、理学・作業療法士、言語聴覚士、保育士、臨床心理士など）とのチームワークが大切です。

一人の子供を中心に保護者を含めた多くの人

が関わりその子供の発達を見守っていきます。

その課程を体感して頂ければ必ず研修される先生方が今後展開される医療に役にたつと思います。

■ 病院の概要

■ 病院長	田畑 直人
■ 所在地	宮崎市高松町 2 番 16 号
■ TEL	0985-26-2170
■ 研修実施責任者	児玉 眞由美
■ 病床数	350 床
■ 年間入院患者実数	1,441
■ 一日平均外来患者数	66.0

(平成 28 年度実績)



■ 研修受入診療科

地域医療

研修施設の特徴

総病床数は 350 床、消化器内科・消化器外科としては県内最多の病床数 60 床を有しています。肝臓・消化器疾患に対する高度専門医療を提供

しており、開設以来取り組んできた高齢者医療と併せ、より良質な医療提供体制整備をすすめています。

* 日本消化器病学会認定施設、日本肝臓学会認定施設、日本胆道学会指導施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本カプセル内視鏡学会指導施設。

研修症例の特徴

肝臓・消化器疾患のみで 60 床と抜群の症例数を誇り、短期間でたくさんの症例を経験でき、種々の先端医療や処置のスキルアップも可能

です。効率よく臨床経験を積むことのできる研修プランをご用意しています。

＜当院で経験できる疾患＞

- ① 急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝癌、自己免疫性肝疾患、肝不全、食道静脈瘤、難治性腹水、ターミナルケアなど
- ② 消化管出血、消化管腫瘍、消化管潰瘍、炎症性腸疾患、小腸疾患、感染性腸炎など
- ③ 閉塞性黄疸、胆癌、総胆管結石など

研修指導医および指導体制の特徴

研修期間を通して 1 名の指導医に加え、担当患者の外来主治医が責任を持ってきめ細かな指導を行います。

また、各種検査・処置・手技に関してはそれぞれの分野の経験豊富な専門医および指導医が指導するチーム指導体制をとっています。

■病院の概要

■ 病院長	迫田 耕一郎
■ 所在地	宮崎市城ヶ崎 3-2-1
■ TEL	0985-51-3555
■ 研修実施責任者	迫田 耕一郎
■ 病床数	104 床
■ 年間入院患者実数	886
■ 一日平均外来患者数	80.2

(平成 28 年度実績)



■研修受入診療科

地域医療

研修施設の特徴

- 1) 病院
 - a) 一般病棟 54 床
 - b) 障害者病棟 50 床
- 2) 老健 80 床 + デイケア / 認知症グループホーム
- 3) 在宅介護支援センター、地域包括支援センター、訪問看護ステーション

研修症例の特徴

- 1) 入院の主な疾患
 - a) 肺炎（重度）、外科（消化器、PEG）
 - b) 重度障害者 / 神経難病
- 2) 病院と家庭と施設の連携

訪問診察、看護

研修指導医および指導体制の特徴

- 1) 地域の医療福祉の連携と在宅医療
- 2) 高齢者医療に必要なものを総合的に学べる

串間市民病院

■ 病院の概要

■ 病院長	黒木 和男
■ 所在地	串間市大字西方 7917
■ TEL	0987-72-1234
■ 研修実施責任者	黒木 和男
■ 病床数	120 床
■ 年間入院患者実数	2,227
■ 一日平均外来患者数	270.1

(平成 28 年度実績)



■ 研修受入診療科

地域医療

研修施設の特徴

串間市における中核病院。内科・消化器内科、外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、総合診療科が常勤で医師数は 11 名。皮膚科（週 1）、耳鼻科（週 2）、は非常勤。

○ 認定施設

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| (1) 日本消化器病学会専門医制度認定施設 | (5) 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設 |
| (2) 日本整形外科学会専門医研修施設 | (6) 宮崎大学協力型臨床研修病院 |
| (3) 日本泌尿器科学会専門医教育施設 | (7) 日本病院総合診療医学会認定施設 |
| (4) 日本肝臓学会専門医制度認定施設 | (8) 日本プライマリケア・連合学会専門医制度認定施設 |

研修症例の特徴

串間市内唯一の救急告示病院であり、原則 1 次～2 次救急までの患者が搬入されます。(対応不能の場合は他の基幹病院へ転送)。また、日

赤の依頼を受けて、へき地診療も行っています。地域医療に必要な多種多様な疾患を経験できます。

研修指導医および指導体制の特徴

内科系の常勤医を中心にして指導します。診療科の垣根も低く、気軽にコンサルテーションできます。特に消化器系の診療科指向であれば、

消化器内視鏡手技、更に超音波技師がおりますので腹部をはじめとして手技習得に特化した指導ができます。

指導医・先輩医師からのメッセージ

当院は、消化器領域だけでなく、循環器や呼吸器疾患など様々な Common disease を経験でき、救急・外科・整形はもちろん、透析や周産期の管理、皮膚科・耳鼻科など、希望に応じて幅広い知識を身につけることができます。

また、患者さんは高齢者が多く、近隣の基幹病院との距離もあることから地域医療を丸ご

と体感できる病院でもあります。医局の雰囲気はとてもよくメディカルスタッフとの連携も抜群です。

一緒に楽しく勉強しましょう。

■病院の概要

- 病院長
- 所在地
- TEL
- 研修実施責任者
- 病床数
- 年間入院患者実数
- 一日平均外来患者数

宮永 敏
宮崎市大島町西田 2128-2
0985-31-1133
宮永 敏
2 床
80
81

(平成 28 年度実績)



■研修受入診療科

地域医療

■研修施設の特徴

慢性中耳炎の鼓室形成術を中心に幅広い耳鼻咽喉科疾患全般を対象とする。

週刊朝日“いい病院”では毎回紹介されている。
慢性中耳炎と慢性副鼻腔炎の日帰り手術を多

数施行している。

ホームページ

<http://miyanaga-ent.pr.miten.jp/>

参照

■研修症例の特徴

局所麻酔下に施行する鼓室形成術や鼻内鼻副鼻腔手術に助手として参加できる。

小児患者が多い。急性中耳炎、副鼻腔炎、上気道感染症は幼少児に多く、モニターを活用し保護者に説明しながら治療を行っている。

難聴、めまい、耳鳴り等の患者さんの検査を行う。

急性喉頭蓋炎や喉頭異常感症、トーンワルト病などをファイバー下に観察する。

■研修指導医および指導体制の特徴

一般外来日、手術日とも院長(指導医)と行動を共にする。

■病院の概要

■病院長	河野 清秀
■所在地	日南市戸高 1-6-10
■TEL	0987-22-5111
■研修実施責任者	河野 清秀
■病床数	- 床
■年間入院患者実数	-
■一日平均外来患者数	50.6

(平成 28 年度実績)



■研修受入診療科

地域医療

研修施設の特徴

当院は平成 10 年に開院して以来、地域に密着し

- 一、一人一人納得していただく医療
- 一、笑顔対応
- 一、何でも質問でき分かりやすい説明
- 一、最善の自己管理をすすめ、よく紹介
- 一、経過を教えて頂き長く診る医療を目指しております。

多病高齢化の中、これからの医療の主体は病院・専門医・主治医制ではなく、患者の病態検査ができる 24 時間対応診療所と総合医の担当医交代制と考えています。これを実現するためには ICT とスタッフの活用が必要です。

総合医育成独立支援ネットワーク株式会社「るり光」の母体研修施設になり、このため総合内科医を活躍させる為に、NP0（特定非営利活動法人 総合内科医と ICT で支えあう安心な地域社会づくりの会）を立ち上げ、総合内科診療所の設立とそのネットワークの創生をして、国民皆保制の維持を目指しています。

研修症例の特徴

24 時間対応総合診療所での治療の実際

心臓を含めた心疾患

喘息を含めた肺疾患

脳梗塞を含めた脳血管障害

胃潰瘍を含めた消化器疾患

感冒を含めた呼吸器感染疾患

線維筋痛症の登録治療施設

発表サポートの充実（医療秘書 5 人体制）

漢方治療の実際

徹底 ICT 診療所の実際、担当医交代制の実際

研修指導医および指導体制の特徴

診療実践を行いながら院長自らマンツーマンにて指導と担当医交代制実施。その他医師、スタッフが指導。臨床検査技師による実践指導。

■ 病院の概要

■ 病院長

宮田 和典

■ 所在地

都城市蔵原町 6 街区 3 号

■ TEL

0986-22-1441

■ 研修実施責任者

宮田 和典

■ 病床数

71 床

■ 年間入院患者実数

4,095

■ 一日平均外来患者数

361.2

(平成 28 年度実績)



■ 研修受入診療科

地域医療

■ 研修施設の特徴

当院では、疾病毎のエキスパートの各大学の教授陣を迎え、特別専門外来診察を毎月 1 回行っており、地方においても最新で最高の医療を提供し

ている。

研究室・角膜センターを設置し、病理組織学的研究と細胞・分子学的研究を行っている。

■ 研修症例の特徴

前眼部から後眼部疾患、また斜視・弱視、神経眼科、眼形成まで幅広い症例を観察できる。

また最新の治療として人工角膜、角膜内皮移植、アバスチン療法等を実施している。

従来の方法では救い得なかった症例に対して、これらの手技を用い積極的な治療に取り組んでいる。

■ 研修指導医および指導体制の特徴

眼科では多くの検査機器を使用するので、これらの器械に触れて診察方法を学ぶ。

習得した検査手技と知識を駆使して指導医の

もと実際の診察を学ぶ。

手術の面ではマイクロサージャリーに親しみ実際の手術の見学をする。

■ 指導医・先輩医師からのメッセージ

将来、眼科を希望している先生はもちろん、眼科に少しでも興味のある先生也大歓迎です。

当院の医局員は、全国各地の大学から集まって

いる若手医師がメインです。

楽しく実りある研修になるものと思います。

宮崎県中央保健所

施設の概要

■施設長	藤崎 淳一郎
■所在地	宮崎市霧島 1-1-2
■TEL	0985-28-2111
■研修実施責任者	藤崎 淳一郎
■病床数	- 床
■年間入院患者実数	-
■一日平均外来患者数	-



研修受入診療科

地域医療（選択）

研修施設の特徴

昭和 19 年 10 月に発足した県型保健所で、現在の主な業務管轄区域は国富町・綾町ですが、一部は宮崎市・高鍋・日南保健所管内も広域的に担当しています。

地域の健康水準の保持・向上を目的に、医師・保健師・薬剤師・獣医師・栄養士・事務職など多職種で、保健・衛生・環境に関する業務を行っています。

また、市町村への技術的支援、健康危機管理の

拠点、各種協議会設置など地域のコーディネーターの役割も担っています。

【保健所の主な業務】

医療施設・介護保険施設の許認可・指導、原爆被爆者援護事業、厚生統計調査、精神保健、結核・感染症、歯科保健、母子保健、禁煙対策、食品衛生、生活衛生、動物管理、環境保全、薬務、廃棄物処理、水道などに関すること。

研修症例の特徴

公衆衛生という観点から、国や地方の対策や方針、それに基づいた事業や業務を知ること、医療との関わり、医師の役割や義務を理解することを目的に幅広い内容にしています。

医療監視への同行、緊急事例の調査への同行、

健康教育として資料作成や発表、各種協議に加わるなど実践的な研修も行います。

また、保健所だけでなく関連する施設等にも協力を得て、健診や介護保険認定調査などの市町村事業の見学、地域の施設見学も予定しています。

研修指導医および指導体制の特徴

公衆衛生医師の役割、健康危機管理の指導は研修責任者（医師）が行いますが、各業務は担当者も説明を行います。

同時期 2 名までの受入で、ほぼマンツーマンで

質問しやすい体制をとっています。

また、健康教育の指導や興味があることについて自分で補足できるように時間の調整や相談体制に配慮しています。

指導医・先輩医師からのメッセージ

県民の健康を守るために、疾病予防、健康増進、食の安全、環境対策等幅広い活動を行っています。

院外に飛び出して、多くの人々に働きかけてみませんか。

宮崎市保健所

■施設の概要

■施設長

西田 敏秀

■所在地

宮崎市宮崎駅東 1-6-2

■TEL

0985-29-4111

■研修実施責任者

西田 敏秀

■病床数

- 床

■年間入院患者実数

-

■一日平均外来患者数

-



■研修受入診療科

地域医療（選択）

研修施設の特徴

宮崎市保健所は、平成 10 年 4 月の中核市移行に伴って設置され、翌年 12 月に現在の施設がオープンしました。

精神保健、難病・感染症対策、食品衛生、動物管理などの専門的・技術的なサービスを担当する「保健所機能」と、赤ちゃん健康相談、1 歳 6 か月

児や 3 歳 6 か月児の健康診査、成人の健康相談や運動教室など住民に身近なサービスを提供する「保健センター機能」を有しています。

人口約 40 万人の保健衛生を所管する拠点として、「ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち」を目指した事業展開を図っています。

研修症例の特徴

保健医療課に所属しながら、所内各課の事業及び所外の地域保健・医療・福祉に関連する事業などに参加します。

〈所内〉 保健医療課：公衆衛生講義、医療法講義、医療監視業務

医療介護連携課：成人健康相談、健康教育、各種訪問指導等

健康支援課：各種がん検診、歯科検診・相談、難病訪問、こころの健康相談、家族教室、接触者検診、特定感染症検査等

保健衛生課：動物管理業務、飲食店営業許可業務、生活衛生業務等

親子保健課：乳児相談、1 歳 6 か月児健診、3 歳 6 か月児健診、乳幼児健診事後教室、小児慢性特定疾患対策協議会等

〈所外〉 学校保健業務、特定疾患審査会、県衛生環境研究所業務、県児童相談所業務、県精神保健福祉センター業務、小児発達相談業務、予防接種業務、死体検案【随時】等

研修指導医および指導体制の特徴

地域保健に関する業務に携わりながら、公衆衛生医師業務に限らず、獣医師、薬剤師、保健師、栄養士などをはじめとする様々な職種の役割について広く学ぶ機会に恵まれるというのが大きな特徴です。さらに、保健所を基点として、県精

神保健福祉センターや県衛生環境研究所、小児科などに出向いての研修を受けます。

また、研修初日に地域保健に関する課題を出し、最終日に報告会で発表します。

指導医・先輩医師からのメッセージ

宮崎市は、保健所としての機能と、市役所としての機能を兼ね備えた県内唯一の行政機関です。つまり、皆さんが、公衆衛生、そして保健衛生行政を学び・体験するのに最適な場所といえると思います。

講義や教科書で勉強してきたことが実際に現

場ではどうなっているのか、自分の住んでいる地域の人々の健康と安心・安全な生活を守るために、保健所がどう関わっているのか、ぜひ、自分の目で見て、確かめてください。

諺にもありますが、「百聞は一見に如かず」です。宮崎市保健所は皆さんの意欲と好奇心を歓迎します。

宮崎県赤十字血液センター

施設の概要

■施設長

北折 健次郎

■所在地

宮崎市大字恒久 885-1

■TEL

0985-50-1800

■研修実施責任者

北折 健次郎

■病床数

- 床

■年間入院患者実数

-

■一日平均外来患者数

-



研修受入診療科

地域医療（選択）

研修施設の特徴

勤務は、移動献血会場及び献血ルーム「カリノー」での献血者の検診業務です。

移動献血会場は 400mL 献血をしてくださる方の献血適否の検診で県内各地を巡回いたします。

献血ルーム「カリノー」は、くつろいだスペース

の中で成分献血・400mL 献血してくださる方の検診をしていただきます。

また、1泊2日で久留米の九州ブロック血液センターで血液製剤の調整・検査内容等の研修を行います。

研修症例の特徴

問診マニュアル・採血副作用対応ガイドライン等を使用した講義を中心に検診業務の実際と事故対応の模擬検診（副作用についての知識と処置

の修得）や輸血検査（交差適合試験・血液型判定）の実習、薬事法関連等盛りだくさんのプログラムを用意しています。

研修指導医および指導体制の特徴

1. 血液事業の概要説明（血液事業の仕組みと現状について）
2. 献血会場での業務の流れについて理解を得て、献血者との対応・接遇の重要性を認識していただきます。
3. 問診マニュアルによる問診項目に関する医学的背景と判断基準を理解していただきます。
4. 輸血副作用及び遡及調査を中心にした安全性確保対策を解説します。

指導医・先輩医師からのメッセージ

内科（血液・腫瘍関係）を希望される方は、当センターでの研修をお勧めします。

都農町国民健康保険病院

■病院の概要

■病院長	立野 進
■所在地	児湯郡都農町大字川北 5202 番地
■TEL	0983-25-1031
■研修実施責任者	立野 進
■病床数	65 床
■年間入院患者実数	520
■一日平均外来患者数	154.5

(平成 28 年度実績)



■研修受入診療科

地域医療

研修施設の特徴

国保病院の理念である地域包括医療・ケアの実践に基づいて、医療を中心に福祉や保健の分野にも広く活動している。

内科、外科、整形外科、小児科、放射線科（週 3 日非常勤）、眼科（月 2 回非常勤）があり、バラ

ンスのとれた研修が可能である。

特別養護老人ホーム回診、訪問診療・看護・リハビリへの同行、特定健診、予防接種への同行もできる。

研修症例の特徴

外来・病棟ともに慢性疾患の患者が多いが、救急車搬送例は年間 300 例に達するため、一般救急症例も経験できる。

リハビリテーションにも力を入れており、リハビリの考え方や実際の手技を理学療法士から教えてもらえる。

研修指導医および指導体制の特徴

指導医（資格有り）が院長で、外科と一般診療を指導する。

消化器外科医長が専門医・指導医（外科学会、

消化器学会等）のため、専門的な指導も可能です。

整形外科、小児科で日常的に遭遇する疾患の治療を指導する。

指導医・先輩医師からのメッセージ

NST 稼働施設として、医師・看護師・理学療法士、管理栄養士等が中心となり、週 1 回の NST 回診や症例検討を積極的に実施しています。

医療の現場に限らず、世の中常に新しい世代の人々の感性、知識、気力を注入する必要があります。皆さんから刺激されることをスタッフ一同待ち望んでいます。

■ 病院の概要

■ 病院長	園田 泰三
■ 所在地	小林市野尻町東麓 1176
■ TEL	0984-44-1141
■ 研修実施責任者	園田 定彦
■ 病床数	80 床
■ 年間入院患者実数	229
■ 一日平均外来患者数	133.1



(平成 28 年度実績)

■ 研修受入診療科

地域医療

研修施設の特徴

医療法人友愛会は昭和 40 年に開設、開院より地域に根差した医療を展開してきております。その柱は当院である野尻中央病院（療養型病床 80 床）と救急・急性期医療を担う園田病院（一般病床 60 床）の二つの病院から成ります。

当院の 3 つの特徴

①『スパインダイナミクス療法』

医療分野では整形外科領域において慢性疼痛の先進治療である「スパインダイナミクス療法」を導入し、リハビリを特化し、整形外科領域において全国トップレベルの船橋整形外科病院（千葉県船橋市）とも連携しています。

③『里山医療』

地域との交流は当院が母体となり社団法人「生き活きのじり里山」を立ち上げ、野尻町の豊かな自然の恵みを生かし、田植えやキャンプ、夏祭りなど地域の住民や患者と共に医療と自然の融合、

「里山医療」＝自然を生かした癒しの医療を目指し活動しております。

職員・患者が笑顔に満ちた「おいたつが田舎病院」をスローガンに、職員・患者・地域住民のための日本一の田舎病院を目指し、様々な面白い仕掛けを施した活気溢れる病院です。

②『医療版失敗学』

リスクマネジメントでは産業界において「失敗学」で著名な東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻社会学連携講座の濱口哲也特任教授との共同研究にて「医療版失敗学」に取り組み、全国では唯一の「医療版失敗学」のモデル病院として展開、全国に向け情報発信しております。

※おいたつが：鹿児島島の方言で「私達」の意。

研修症例の特徴

在宅診療に関しましては、医師 4 名で毎日患者様の自宅や入居施設を訪問し、診療を行っております。

健診分野では、各種健診の流れを携わっていただき体験して頂きます。また、診療の様子を見ることが出来ます。

研修指導医および指導体制の特徴

研修指導者の指導だけでなく、各スタッフが、研修医をサポートいたします。

特に、在宅医療では、医師、看護師、理学療法士や各スタッフの連携が大変重要になってきます。

職種の幅を超えた、チーム医療を、当病院では、

体験する事が可能だと考えています。

野尻中央病院では、当病院院長の理念のもと、他では体験できない、医療分野だけでなく他分野（組織風土・経営等）研修会も著名な外部講師を招き随時行っています。

ぜひ参加して見て下さい。

宮崎市立田野病院

■病院の概要

■ 病院長	近藤 千博
■ 所在地	宮崎市田野町乙 7696
■ TEL	0985-86-1155
■ 研修実施責任者	近藤 千博
■ 病床数	42 床
■ 年間入院患者実数	694
■ 一日平均外来患者数	97.9

(平成 28 年度実績)



■研修受入診療科

地域医療

研修施設の特徴

平成 24 年 3 月に病院改築を行い、MRI (ワイドオープン型 0.4 テスラ)・CT (16 列マルチスラ

イス)・X 線透視台等を導入しております。生化学検査も可能です。

研修症例の特徴

地域医療としては、病院での地域医療に加え、訪問診療等在宅で 170 名/月を行なっています。

併設される介護老人保健施設さざんか苑では、病院と在宅の中間施設としての診療介護とともに

に在宅ケアを支援する介護予防短期入所療養介護や介護予防通所リハビリテーションについて学ぶこともできます。

研修指導医および指導体制の特徴

内科医 1 名、外科医 1 名、総合診療医 1 名、リハビリテーション科医 1 名の指導体制となります。

指導医・先輩医師からのメッセージ

宮崎市立田野病院は、昭和 23 年に診療所として開設以来半世紀以上にわたり宮崎市南・西部地域(田野地域を中心)に医療及び健康増進、介護事業を提供してきました。

当院の特徴は、内科、外科、整形外科を中心に全人的な包括的医療(診療科にとらわれない)を行っていることです。地域に必要な医療、介護を安定して提供する事に加えて、最新の医療、介護サービスを提供できる体制作りを推進していきます。

平成 24 年 3 月に新病院が完成して、今まで以上の医療、介護サービスが提供できる体制となりました。

また、平成 27 年 4 月からは国立大学法人宮崎大学が指定管理者として田野病院の管理・運営を行うことになり、医学部附属病院との連携を図りながら、研修医の育成が可能となりました。

これからも地域みなさんに愛される病院を目指し、職員一同努力いたします。



地方独立行政法人 西都児湯医療センター

■病院の概要

■病院長	長田 直人
■所在地	西都市大字妻 1550 番地
■TEL	0983-42-1113
■研修実施責任者	長田 直人
■病床数	91 床
■年間入院患者実数	1,800
■一日平均外来患者数	50.6
■救急取扱患者数	887



(平成 28 年度実績)

■研修受入診療科

地域医療

研修施設の特徴

西都児湯地域における中核病院の一つとして、地域医療・救急医療を担っている。診療科として、総合診療内科（循環器内科・呼吸器内科・消化器

内科）、終末期医療、脳神経外科があり、脳卒中・心疾患・呼吸器疾患・消化器疾患など救急対応を主としている。

研修症例の特徴

年間の救急車搬入件数は昨年度 887 件で、西都児湯医療圏で最も多く、さらなる増加が見

込まれ、大学病院では体験できない様々な疾患を経験できる。

研修指導医および指導体制の特徴

指導医 1 名のほか、内科 2 名・脳神経外科 1 名とともに指導する。

一般内科疾患では、肺炎、心不全などのほか、髄膜炎、薬物中毒、低血糖、腎盂腎炎、敗血症性ショック、低 K 血症性ミオパチー、マムシ咬傷など多岐にわたって診断、治療を行っている。

消化器内科では、内視鏡検査および消化管出血に対する止血手技などを指導する。

呼吸器内科では、気管支鏡検査による基本的手技とともに、硬性鏡を使った気管狭窄の治療など

先進医療も併せて行っている。

循環器内科では、心臓超音波検査、運動負荷心電図検査、冠動脈 CT 検査などを用いた循環器疾患全般の診断・治療を指導する。徐脈性不正脈に対する体外式一時ペーシング治療・恒久的ペースメーカー植え込みも行っている。

脳神経外科では、年間 300～350 例の脳血管障害患者があり、脳梗塞急性期の tPA 静注療法や血栓回収療法、脳動脈瘤手術に積極的に取り組んでいる。また、脊髓脊椎疾患の外科治療も併せて、幅広く指導する。

指導医・先輩医師からのメッセージ

明るく活気のある病院です。ドクターはもちろん病院全体で先生方をサポートいたしますので、

まずは気軽に施設見学にお越しください。

平成30年度協力型臨床研修病院・臨床研修協力施設一覧表

No	病院名	〒	住所	TEL	FAX
協力型臨床研修病院					
1	独立行政法人国立病院機構 宮崎東病院	〒880-0911	宮崎市大字田吉4374-1	0985-56-2311	0985-56-2257
2	県立宮崎病院	〒880-8510	宮崎市北高松町5-30	0985-24-4181	0985-28-1881
3	宮崎市郡医師会病院	〒880-0834	宮崎市新別府町船戸738-1	0985-24-9119	0985-23-2210
4	社会医療法人同心会 古賀総合病院	〒880-0041	宮崎市池内町数太木1749-1	0985-39-8888	0985-39-0067
5	宮崎医療生活協同組合 宮崎生協病院	〒880-0824	宮崎市大島町天神前1171	0985-24-6877	0985-29-4839
6	医療法人社団誠友会 南部病院	〒880-0916	宮崎市大字恒久891-14	0985-54-5353	0985-51-5460
7	社会医療法人善仁会 宮崎善仁会病院	〒880-0834	宮崎市新別府町江口950-1	0985-26-1599	0985-26-1533
8	一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	〒880-2112	宮崎市大字小松1119	0985-47-5555	0985-47-5202
9	独立行政法人地域医療機能推進機構 宮崎江南病院	〒880-8585	宮崎市大坪西1丁目2番1号	0985-51-7575	0985-53-8821
10	一般財団法人弘潤会 野崎東病院	〒880-0837	宮崎市村角町高尊2105	0985-28-8555	0985-28-8560
11	医療法人社団三晴会 金丸脳神経外科病院	〒880-0041	宮崎市池内町八幡田803	0985-39-8484	0985-39-8016
12	医療法人プレストピア プレストピア宮崎病院	〒880-0052	宮崎市丸山2-112-1	0985-32-7170	0985-32-7169
13	医療法人如月会 若草病院	〒880-0804	宮崎市宮田町7-37	0985-28-2801	0985-27-2722
14	医療法人真愛会 高宮病院	〒880-0841	宮崎市吉村町大町甲1931番地	0985-24-5678	0985-22-1571
15	医療法人慈光会 宮崎若久病院	〒880-0945	宮崎市福島町寺山3147番地	0985-51-1548	0985-52-7394
16	社会医療法人善仁会 市民の森病院	〒880-0122	宮崎市大字塩路江良ノ上2783-37	0985-39-7630	0985-39-7589
17	一般財団法人弘潤会 野崎病院	〒880-0916	宮崎市大字恒久5567番地	0985-51-3111	0985-51-3114
18	県立日南病院	〒887-0013	日南市木山1-9-5	0987-23-3111	0987-23-5142
19	社会福祉法人 愛泉会日南病院	〒887-0034	日南市大字風田3649-2	0987-23-3131	0987-23-8130
20	医療法人同仁会 谷口病院	〒887-0034	日南市大字風田3861番地	0987-23-1331	0987-23-7739
21	医療法人十善会 県南病院	〒888-0001	串間市大字西方3728番地	0987-72-0224	0987-72-5967
22	県立延岡病院	〒882-0835	延岡市新小路2-1-10	0982-32-6181	0982-32-6759
23	医療法人建悠会 吉田病院	〒889-0511	延岡市松原町4-8850	0982-37-0126	0982-37-0233
24	社会福祉法人恩賜財団 宮崎県済生会日向病院	〒889-0692	東臼杵郡門川町南町4丁目128	0982-63-1321	0982-63-4370
25	社会医療法人泉和会 千代田病院	〒883-0064	日向市日知屋字古田町88番地	0982-52-7111	0982-53-6188
26	医療法人誠和会 和田病院	〒883-0051	日向市向江町1-196-1	0982-52-0011	0982-54-1012
27	医療法人向洋会 協和病院	〒883-0021	日向市大字財光寺1194番地3	0982-54-2806	0982-54-3319
28	独立行政法人国立病院機構 宮崎病院	〒889-1301	児湯郡川南町大字川南19403-4	0983-27-1036	0983-27-5033
29	医療法人宏仁会 海老原総合病院	〒884-0006	児湯郡高鍋町大字上江207番地	0983-23-1111	0983-21-1816
30	独立行政法人国立病院機構 都城医療センター	〒885-0014	都城市祝吉町5033-1	0986-23-4111	0986-24-3864
31	都城市郡医師会病院	〒885-0002	都城市太郎坊町1364番地1	0986-36-8300	0986-38-1220
32	医療法人宏仁会 メディカルシティ東部病院	〒885-0035	都城市立野町3633-1	0986-22-2240	0986-36-4718
33	一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元総合病院	〒885-0055	都城市早鈴町17-1	0986-22-1717	0986-25-3950
34	一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元病院	〒885-0055	都城市早鈴町17-4	0986-25-1315	0986-25-2473
35	医療法人魁成会 宮永病院	〒885-0077	都城市松元町15街区10号	0986-22-2015	0986-22-7117
36	医療法人けんゆう会 園田病院	〒886-0003	小林市大字堤3005-1	0984-22-2221	0984-22-3243
37	医療法人浩然会 内村病院	〒886-0002	小林市大字水流迫852-1	0984-23-2575	0984-22-6442
38	小林市立病院	〒886-8503	小林市細野2235番地3	0984-23-4711	0984-23-7717
臨床研修協力施設					
1	五ヶ瀬町国民健康保険病院	〒882-1203	西臼杵郡五ヶ瀬町大字三ヶ所2109-1	0982-73-5500	0982-73-5504
2	高千穂町国民健康保険病院	〒882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井435-1	0982-73-1700	0982-73-1710
3	美郷町国民健康保険西郷病院	〒883-1101	東臼杵郡美郷町西郷田代29番地	0982-66-3141	0982-66-2491
4	宮崎県立こども療育センター	〒889-1601	宮崎市清武町木原字山内4257-8	0985-85-6500	0985-85-6501
5	医療法人社団晴緑会 宮崎医療センター病院	〒880-0003	宮崎市高松町2番16号	0985-26-2800	0985-27-6811
6	社会医療法人耕和会 迫田病院	〒880-0917	宮崎市城ヶ崎3-2-1	0985-51-3555	0985-53-3631
7	串間市民病院	〒888-0001	串間市大字西方7917	0987-72-1234	0987-72-1332
8	医療法人社団MS 宮永ENTクリニック	〒880-0824	宮崎市大島町西田2128-2	0985-31-1133	0985-31-1122
9	医療法人社団月陽会 きよひで内科クリニック	〒887-0031	日南市戸高1-6-10	0987-22-5111	0987-22-5112
10	医療法人明和会 宮田眼科病院	〒885-0051	都城市蔵原町6街区3号	0986-22-1441	0986-24-2174
11	宮崎県中央保健所	〒880-0032	宮崎市霧島1-1-2	0985-28-2111	0985-23-9613
12	宮崎市保健所	〒880-0879	宮崎市宮崎駅東1-6-2	0985-29-4111	0985-29-5208
13	宮崎県赤十字血液センター	〒880-8515	宮崎市大字恒久885-1	0985-50-1800	0985-50-1818
14	都農町国民健康保険病院	〒889-1201	児湯郡都農町大字川北5202番地	0983-25-1031	0983-25-1032
15	医療法人友愛会 野尻中央病院	〒886-0212	小林市野尻町東麓1176	0984-44-1141	0984-44-0629
16	宮崎市立田野病院	〒889-1702	宮崎市田野町乙7696	0985-86-1155	0985-86-4502
17	地方独立行政法人 西都児湯医療センター	〒881-0033	西都市大字妻1550番地	0983-42-1113	0983-42-5530

編集後記

今回も、研修プログラム冊子『2018 年』版を発行することができました。ご寄稿いただきました附属病院診療科、協力型臨床研修病院、研修協力施設の関係各位に厚く御礼申し上げます。

プログラム冊子の変更点として最も目を引くのは、附属病院の内科が9つの診療科別に分かれて記載されていることかと思います。附属病院での初期研修期間内に、より専門的に内科分野別研修ができるようになり、選択の幅が広がったのではないかと考えております。

また、小児科研修重点プログラム、産婦人科/周産期研修重点プログラムでは、1 年次に小児科、産婦人科/周産期を研修できるようになりました。初年度からそれぞれの診療科で研修することとなり、重点プログラムとして更に充実されたと思われます。

また、協力型臨床研修病院では、新病棟になり病床が増設された宮崎東病院、受け入れ診療科に循環器内科・心臓血管外科が増えた宮崎市郡医師会病院に気付かれるかと思います。

各ご施設のご努力、受け入れ体制の拡充により、当院卒後臨床研修センター開始以来の伝統である、ALL Miyazaki で研修医を育てていく体制が、ますます充実していると感じられます。

さて、2018 年から新たな専門医制度が開始されます。2019 年は、これまで以上に、早い時期に将来の進路決定を行う可能性もあり、このプログラム冊子を手にする研修医の皆さんには、本冊子や先輩医師などの意見も踏まえ、将来の進路も見据えながら、自ら学ぶ医療機関を決めていただければと思います。

本冊子は 2011 年より発行され、以後、改訂を重ねながら現在に至っております。今後も、宮崎大学での研修を考えている医学生や、初期研修医の研修ローテーション選択に役立つ、より良き情報源となるよう改善を重ねていきたいと思っております。

最後になりますが、本冊子の冒頭にご寄稿いただきました鮫島病院長、小松センター長、および、冊子作成に尽力いただきました卒後臨床研修係の小八重さん、岩城さん、金丸さん、山田さんに、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

平成 29 年 10 月 30 日
卒後臨床研修センター
中島 孝治



宮崎大学医学部附属病院群 卒後臨床研修プログラム 2018

発 刊:2017 年 11 月

発 行:宮崎大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター

宮崎大学医学部学生支援課 卒後臨床研修係

宮崎市清武町木原 5200

TEL:0985-85-1864 FAX:0985-85-0693

E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp

URL: <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/sotsugo/>

印 刷:(株)宮崎南印刷

平成30年度 宮崎大学臨床研修病院群

協力施設

- 1 五ヶ瀬町国民健康保険病院
- 2 高千穂町国民健康保険病院
- 3 美郷町国民健康保険西郷病院
- 4 宮崎県立こども療育センター
- 5 宮崎医療センター病院
- 6 迫田病院
- 7 串間市民病院
- 8 宮永ENTクリニック
- 9 きよひで内科クリニック
- 10 宮田眼科病院
- 11 宮崎県中央保健所
- 12 宮崎市保健所
- 13 赤十字血液センター
- 14 都農町国民健康保険病院
- 15 野尻中央病院
- 16 宮崎市立田野病院
- 17 西都児湯医療センター

協力型病院 県西エリア

- 30 国立病院機構都城医療センター
- 31 都城市郡医師会病院
- 32 メディカルシティ東部病院
- 33 藤元総合病院
- 34 藤元病院
- 35 宮永病院
- 36 園田病院
- 37 内村病院
- 38 小林市立病院

協力型病院 県南エリア

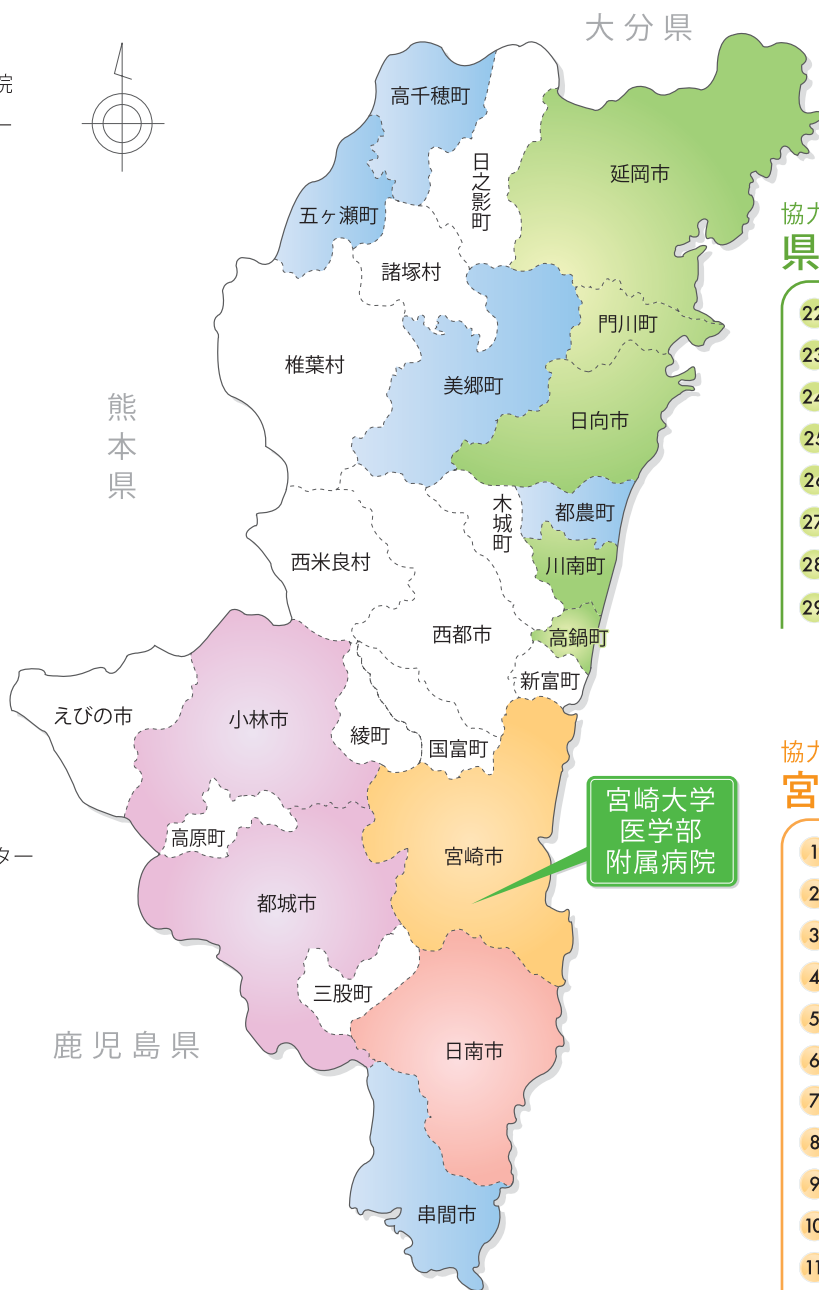
- 18 宮崎県立日南病院
- 19 愛泉会日南病院
- 20 谷口病院
- 21 県南病院

協力型病院 県北エリア

- 22 宮崎県立延岡病院
- 23 吉田病院
- 24 済生会日向病院
- 25 千代田病院
- 26 和田病院
- 27 協和病院
- 28 国立病院機構宮崎病院
- 29 海老原総合病院

協力型病院 宮崎エリア

- 1 国立病院機構宮崎東病院
- 2 宮崎県立宮崎病院
- 3 宮崎市郡医師会病院
- 4 古賀総合病院
- 5 宮崎生協病院
- 6 南部病院
- 7 宮崎善仁会病院
- 8 潤和会記念病院
- 9 宮崎江南病院
- 10 野崎東病院
- 11 金丸脳神経外科病院
- 12 プレストピア宮崎病院
- 13 若草病院
- 14 高宮病院
- 15 宮崎若久病院
- 16 市民の森病院
- 17 野崎病院



協力型病院

- …県北エリア
- …宮崎エリア
- …県南エリア
- …県西エリア
- …協力施設



宮崎大学医学部附属病院
卒後臨床研修センター